

平成28年度 成田空港活用協議会総会 次第

日時：平成28年5月16日（月）午前10：30～

場所：三井ガーデンホテル千葉3F「平安」

1 開 会

2 あいさつ

3 役員紹介

4 議 題

議案第1号 役員の選任について

議案第2号 平成27年度事業報告について

議案第3号 平成27年度収支決算について

議案第4号 平成28年度事業計画（案）について

議案第5号 平成28年度収支予算（案）について

5 その他

6 閉 会

※第1回県内経済活性化セミナーの開催（3階平安）

○プログラム：「成田空港圏物流動向調査について」

○時間：総会終了後、午前11時40分～午後0時30分（予定）

※交流会（4階白鳳）

○時間：セミナー終了後、午後0時30分～午後2時（予定）

是非ご参加ください。

平成28年度成田空港活用協議会総会資料一覧

1. 次第
2. 議案書
3. 事業報告（まとめ）
4. 事業報告（資料編）
5. 成田空港活用協議会役員及び幹事一覧
6. 規約
7. スケジュール（イメージ）
8. 平成27年度協議会作成資料
 - ・ イベント配布用ウエットティッシュ
 - ・ 女子旅×成田LCCサポートブック
 - ・ つくば市イベント折り込みチラシ
 - ・ 東京スカイツリーイベント配布チラシ
 - ・ 無料高速バス「チバストーリー」プレゼントチラシ
 - ・ パークゴルフモニターツアー募集要項

平成28年度

成田空港活用協議会総会
議案書

平成28年5月16日(月)

目 次

議案第1号	役員を選任について・・・・・・・・・・	1
議案第2号	平成27年度事業報告について・・・・・・	3
議案第3号	平成27年度収支決算について・・・・・・	21
議案第4号	平成28年度事業計画（案）について・・	25
議案第5号	平成28年度収支予算（案）について・・	31

役員の選任について

成田空港活用協議会役員（案）

（新任）

副会長 救仁郷 豊（（一社）千葉県経済協議会会長）

（任期：平成28年5月16日～平成29年7月30日）

平成27年度 事業報告

1 総括 ～振り返り～

○ 新しいナリタを強力に発信

第3旅客ターミナルビルの供用や圏央道神崎—大栄間の開通など、空港機能の強化や交通アクセスの利便性が向上する中で、これらの効果が空港利用者の取り込みにつながるよう、千葉県内はもとより、圏央道沿線や国内線就航先などで積極的にプロモーションを実施し、新しいナリタを強力に発信した。

○ これまでの取組を踏まえた新たな展開

平成25、26年度と実施してきた北海道との意見交換を踏まえ、北海道・千葉交流パークゴルフ大会の開催など、交流促進に向けた取組の事業化を図った。

また、平成26年度事業で得られた若者目線のアイデアを基に、学生主導で女子旅×成田LCC事業を実施した。

○ 会員への情報提供の充実

訪日外国人の増加や圏央道神崎—大栄間の開通など、会員の関心の高いテーマについて、セミナーをタイムリーに開催するとともに、協議会会員向けメールなどにより情報提供を行った。

主な成果や今後の課題

① 国内線就航先との交流促進（北海道）

平成25年度、26年度と行ってきた北海道との相互交流では、これまでの意見交換を踏まえ、北海道・千葉県の双方で盛んなパークゴルフを活用した相互交流として、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉2016」を開催するとともに、これにあわせて、北海道から成田LCCを使ったモニターツアーを実施し、パークゴルフを通じた北海道と千葉の交流を深めることができた。

また、北海道への教育旅行PRの場をセッティングするとともに、つくば市で行ったイベントにおいて、北海道の観光のPRなどを行った。

今後は、教育旅行や観光のPRについて、引き続き連携して行っていくとともに、北海道における交流パークゴルフ大会の開催や千葉から北海道へのパークゴルフモニターツアーを実施するなど、様々な形で相互の交流を深めていく。

② 海外向け誘客促進

海外向け誘客促進事業では、海外の旅行事業者を招請したモニターツアーに代えて、主に地上手配を行うことで、旅行商品の造成に深くかかわるランドオペレーターを招請し、会員企業・団体との商談会を実施した。

参加者からは「実務を行っている方と商談できて良い。」「商談だけでなく、インバウンドの近況も聞けて良かった」などの評価の声があった。

今後は、旅行商品の造成を促進するとともに、ナリタの魅力をより多くの外国人に伝えられるよう海外ポータルサイトを利用した情報発信を行う必要がある。

③ 北関東エリアにおけるプロモーション

圏央道神崎—大栄間の開通により、茨城県南部を中心とした北関東と成田空港との時間距離が大幅に短縮したことから、つくば市のショッピングモールにおいて、エアラインや交通事業者などの会員と国内線就航先が連携してプロモーションイベントを行い、森田知事や石井会長も駆けつけるなど、つくば市周辺の方々に近くて便利になった成田空港を大いにPRすることができた。

また、これと併せて、つくば市周辺の親子を対象にした成田空港見学バスツアーや茨城県・群馬県のイオンシネマにおけるCMの放映、宇都宮市のショッピングモールにおけるPRなども行った。

今後も、今年度中に予定されている圏央道の茨城県区間(つくば中央—境古河)の開通によって、成田空港と東北道、関越道が直結することから、時間距離が大幅に短縮する栃木県・群馬県においてPRに取り組んで行く。

④ 県内・首都圏における利用促進キャンペーン

県内向け空港利用促進キャンペーンでは、成人式プレゼント企画、千葉県庁でのパネル展示や「県民だより」などで成田空港の持つ豊富なネットワークや交通利便性をPRした。

また、首都圏向けでは、国内線就航先の沖縄・奄美と連携した東京スカイツリーでのPRや、県が設置したアンテナショップ「ちばI・CHI・BA」におけるPRを実施した。

引き続き、多くの人口を抱える県内・首都圏において、進化を続けるナリタの魅力をPRしていく。

⑤ ナリタファンの拡大に向けた学生アイデアの具現化

平成26年度に実施した学生アイデアコンテストにおいて最優秀賞を受賞した「女子旅で！学生に成田ブームを巻き起こせ！！」を具現化するため、本事業に参画した学生20名が主体的に取り組み、千葉や成田LCCの魅力を就航先の女

子学生に発信するサポートブック（ガイドブック）を作成した。

サポートブックを使ったプロモーション活動の実施に先立って、森田知事を表敬訪問し、激励を受けた学生たちは、就航先（広島・札幌）において、現地の学生との意見交換やプロモーションイベントでのPRなどを行うとともに、効果的なメディアへの露出を図った。

今後は、WEBなどを積極的に活用し、成田LCCの就航先の女子学生に向けた更なる情報発信に取り組んでいく。

⑥ 経済活性化セミナー

第1回セミナーでは、平成26年度に実施した「千葉県における外国人旅行者の嗜好及び県内周遊動向等に関する調査」の結果を報告するとともに、外国人の誘客に向けた取組みの方向性について解説を行った。

第2回セミナーでは、茨城県側から見た圏央道神崎一大栄間の開通の意義や効果を講演いただくことにより、県内の未開通区間の早期整備の必要性について再確認した。

これらのセミナーは、いずれも会員の関心が高いテーマであり、タイムリーに実施したことから、会員のビジネス展開に資するセミナーとすることができた。

今後も会員のビジネス展開に役立つよう、会員のニーズを踏まえたテーマのセミナーを開催していく。

⑦ 要望活動

昨年に引き続き、千葉県及び関係2団体とともに、国等に対して圏央道と北千葉道路の整備推進に関する要望活動を行った。この2つの道路は、成田空港の利便性の向上や成田空港の経済効果を首都圏全体に波及させるための基幹インフラであることから、今後も引き続きこうした取組を行っていく。

2 事業の概要

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

① 北海道との交流促進

平成25年度、26年度と実施してきた北海道との交流をさらに促進するため、平成26年度の意見交換会で確認した、教育旅行のPRの場のセッティングやゴルフ・パークゴルフを活用した相互交流、道県連携したPRを実施した。

○ゴルフ・パークゴルフを通じた交流促進（北海道におけるPR）

千葉県が行うチーバくんキャラバン隊と連携して、「この冬は、LCCで成田空港を使って、気軽に千葉でゴルフ・パークゴルフをしよう！」をテーマに、10月2日、3日に北海道新聞等札幌の新聞社やフリーマーケットを訪問し、PRを行った。

○ゴルフ・パークゴルフを通じた交流促進

（北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアー）

増大するアクティブシニア層をターゲットとして、北海道と千葉県の双方で盛んなパークゴルフを活用した継続的な相互交流を推進するため、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉2016」と交流会を開催した。

また、大会の開催にあわせて、新千歳からLCCで成田空港を使って千葉県でパークゴルフをプレーするモニターツアーも併せて実施した。

《パークゴルフ大会》

- ・日 時 平成28年3月11日（金）9：00～14：00
- ・場 所 蓮沼海浜公園パークゴルフ場
- ・内 容 開会式、記念撮影、競技、表彰式など
- ・参加者 計160名

北海道からのモニターツアー参加者 40名

公募した千葉県のパークゴルフ愛好者 120名

《交流会》

- ・日 時 平成28年3月11日（金）17：00～18：30
- ・場 所 蓮沼ガーデンハウスマリーノ
- ・内 容 主催者挨拶（石井会長）、地元歓迎あいさつ（椎名山武市長）、千葉県産品などのプレゼント抽選会など
- ・参加者 大会参加者に加え、県内のパークゴルフ場関係者など計94名。

《モニターツアー》

パークゴルフ大会の開催にあわせて、成田LCCや千葉県でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・実施日 平成28年3月10日（木）～12日（土）
- ・参加者数 40名
- ・ツアー行程

日次	月日	行 程	食事
1 日 目	3月10日 (木曜日)	8:30頃 新千歳空港→成田空港 ― ホテルにて昼食 ― 蓮沼海浜公園 パークゴルフ場(ホテル併設36ホール) ― ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> × 昼 <input type="checkbox"/> ホテル 夜 <input type="checkbox"/> ホテル
2 日 目	3月11日 (金曜日)	午前：蓮沼海浜公園パークゴルフ場にて 北海道・千葉交流パークゴルフ大会開催／表彰式 午後：自由時間（パークゴルフもお楽しみいただけます） 夜：交流会（千葉からも多くのパークゴルフ愛好者が参加） 千葉県産品などが当たる抽選会も開催 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ホテル (交流会)
3 日 目	3月12日 (土曜日)	8:30 ホテル ― 海の駅九十九里 ― イチゴ狩り(山武市) ― しすいの森パークゴルフ場(36ホールのコース) ― 成田山 新勝寺 ― 成田空港→新千歳空港(19:50頃)到着後 各自解散	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ×

○道県連携したPR

つくば市におけるプロモーションにおいて、ポスターの掲示とチラシの配布により北海道の観光PRを行った。また、北海道の協力を得て、女子旅×成田LCCサポートブックを、札幌の大学等に設置し、千葉の魅力をPRした。

○教育旅行のPRの場のセッティング

9月4日の千葉県高等学校長協会の理事会（約50名の校長先生が参加）において、北海道観光振興機構が教育旅行に係るプレゼンテーションと北海道への教育旅行研修会（招へい事業）の説明を実施した。

② 学生アイデアの具現化

○千葉で女子旅×成田LCCサポートブックの作成

関東の学生が主体となって、ミーティングやLCCとの意見交換などを行った上で、LCCの乗り方や千葉県でできる非日常体験を紹介するためにサポートブック（ガイドブック）の作成を行った。

プロモーションや成田LCC就航先の道県の協力を得て約2万部を配布するとともに、SNSによる情報発信も行った。

○広島・札幌でのプロモーション活動について

成田LCCの就航先である、広島・札幌に実際に学生が行きサポートブックを使ったプロモーションを実施した。

また、現地の大学生との意見交換会を実施し地域ごとのLCCや旅行に対する考え方の違いについて知るとともに、共同でのプロモーションを展開した。

・知事への表敬訪問

日時：平成28年1月13日（水）

場所：千葉県庁知事執務室

内容：プロモーションに先立ち、石井会長と学生7名が知事への表敬訪問を実施し、抱負を述べ、知事から激励をいただいた。

・広島でのプロモーション

期間：平成28年1月22日（金）～1月24日（日）

内容：広島学生との意見交換会

「広島空旅！2016」（場所：紙屋町シャレオ中央広場）への参加
※成田国際空港㈱、春秋航空日本㈱との共同プロモーションを実施
広島県の協力により、広島県内7大学へタダコピを実施。

・札幌でのプロモーション

期間：平成28年2月20日（土）～2月21日（日）

内容：札幌学生との意見交換会（ジェットスター・ジャパン、バニラエアも参加）
札幌駅前通り地下広場『チ・カ・ホ』イベントスペースでのPR活動

・モニターツアーの実施

期間：平成28年3月27日（日）～3月29日（火）

内容：札幌テレビ、広島、松山、福岡のSNSなどで情報発信力のある女性を招待してのモニターツアーを実施
テレビ番組での紹介や、SNSでの情報発信を行うとともに、ツアーの様子をWEB記事配信する。（情報発信は平成28年度内）

イ 海外向けプロモーション

○ランドオペレーターとの商談会の開催

千葉インバウンド促進協議会と共同で、旅行の地上手配を行うなど旅行商品の造成に深く関わるランドオペレーターに対して、会員企業・団体が直接PRすることで今後の旅行商品の造成につなげることを目的として開催した。

招へいたランドオペレーターは、今後の需要増が見込まれるアジア圏を担当していることから、会員企業・団体のニーズに対応した。

実施日：平成27年12月4日（金）

会場：マロウドインターナショナルホテル成田

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

① 北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーション

6月7日の圏央道神崎―大栄間の開通により、成田空港へのアクセスが飛躍的に向上した北関東方面をターゲットにして、会員と連携したPR・情報発信を展開し、成田空港の利用促進を図った。

〇つくば市におけるプロモーションイベント

「ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！圏央道とつながる成田空港」をテーマに、つくば市のショッピングモール「イーアスつくば」で、会員や就航先などがステージイベントと特設ブースでPRを行った。

11月7日には、森田知事や石井会長も駆け付け、イベントを盛り上げた。

実施日：平成27年11月7日（土）、8日（日）

・ステージイベント

トークセッション（11月7日）

森田健作千葉県知事

小泉一成成田市長

斉田正己成田国際空港(株)代表取締役副社長

森口博子（歌手）

ステージPR（11月7日、8日）

協議会会員（エアライン、交通事業者、観光事業者）

就航先団体

・特設ブース（11月7日、8日）

協議会会員（エアライン、交通事業者、観光事業者）

就航先団体、協議会事務局

イベントへの参加者数：両日とも約5,000人

〇成田空港親子見学バスツアー

つくば市周辺の親子を対象に、圏央道の開通によりつくばから近くなった成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ、「ナリタファン」になっていただくため、通常では立ち入ることができないランプコントロールタワーや周辺の観光施設などを見学するバスツアーを実施した。

実施日：平成27年11月28日（土）

参加者数：つくば市周辺の親子19組44名

見学先：成田空港（ランプコントロールタワー）、航空科学博物館、
成田ゆめ牧場

○筑波大学の大学祭パンフレットへの広告掲載

昨年度に引き続き筑波大学の大学祭（雙峰祭）のパンフレットに、若年層の旅行需要喚起を狙った広告を掲載した。

期間：平成27年11月6日（金）～11月8日（日）

対象：大学祭来場者25,000人、発行部数11,000部

○茨城県、群馬県のイオンシネマにおける成田空港CMの放映

映画上映前のCM放映を実施し、圏央道延伸により近くなった成田空港をPRした。

期間：平成27年9月5日（土）～3月4日（土）

場所：茨城県 イオンタウン守谷、イオンモール下妻

群馬県 イオンモール太田、イオンモール高崎

対象：上記イオンシネマで放映する全作品

視聴者：約59万人

② 県民・首都圏向けのPR・情報発信

○成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画

千葉県の実施した無料高速バスの利用を促進するため、成田空港の豊富なネットワーク等のPRチラシを配布するとともに、国内往復航空券などが当たるプレゼントキャンペーンを実施した。

期間：平成27年8月17日（月）～9月30日（水）

対象：乗車人数10,860人 応募件数5,998件

○千葉県庁舎内パネル展示

9月20日の「空の日」にちなみ、千葉県庁舎内にて成田空港PRパネルを展示した。

期間：平成27年9月14日（月）～9月30日（水）

場所：千葉県庁舎内1階連絡通路

対象：県庁来庁者及び県庁職員

○成田空港内パネル展示

千葉県の実施した「千葉県秋の観光キャンペーン」に合わせて、空港利用者に対して成田空港PRパネルを展示した。

期間：平成27年10月12日（月）

場所：成田空港第2旅客ターミナルビルB1階

対象：成田空港来港者及び千葉県プレミアム宿泊券購入者

○県民だよりへの広告掲載

県民に向け、成田空港の持つ豊富なネットワークを国内線中心にPRした。

期間：平成27年11月号（平成27年11月5日発行）

対象：千葉県全域（約210万部発行）

○千葉県中央旅券事務所におけるプロモーション

法務省入国管理局、千葉県、成田国際空港㈱の協力を得て、自動化ゲートの出張登録及び成田空港の冊子などの配布による利用促進PRを実施した。

期間：平成27年11月29日（日）、12月6日（日） 2日間

対象：パスポート交付者など 約400名

○県内成人式におけるプロモーション

45会員市町村の協力を得て、新成人約38,000人に対し、お祝いメッセージとともに、会員航空会社の航空券等が当たるプレゼントキャンペーンを実施した。

期間：平成28年1月9日（土）～1月11日（月）

対象：新成人 約38,000人

○東京スカイツリーでのプロモーション活動

沖縄県・鹿児島県・奄美市と共同で、成田空港からLCCを含め多くの航空便が就航しており、「お得に」「気軽に」出かけられることを知ってもらい、利用してもらうことを目的に、抽選会の実施とパネルやチラシなどでPRした。

期間：平成27年12月4日（金）～12月10日（木）

場所：東京スカイツリー5階「Beautiful NIPPON」

全国観光PRコーナー

対象：東京スカイツリーを訪れた観光客 約3,000名

○JPタワー「KITTE」でのプロモーション活動

出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的に抽選会の実施とパンフレットの配布などを行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。

期間：平成27年11月30日（月）

場所：JPタワー「KITTE」地下1階

東京シティアイパフォーマンスゾーン

対象：丸の内周辺に勤務するサラリーマンやOL 約200名

○会員向け成田空港利用促進キャンペーン

昨年度に引き続き、会員航空会社及び旅行会社と連携し、会員向け旅行商品を造成（アレンジ）し、利用した会員に対して、旅行代金の一部を助成し、会員の利用を促した。

期 間：平成27年11月1日（日）～平成28年3月30日（水）

旅行先：北海道、四国、九州、沖縄

(3) ビジネス支援事業

ア 経済活性化セミナー

○『第1回県内経済活性化ビジネスセミナー「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査」』の実施

平成26年度に実施した「千葉県における外国人旅行者の嗜好及び県内周遊動向等に関する調査」の結果を報告した。

また、分析した内容から、会員が成田空港からの外国人旅行者の誘客促進を行うにあたっての取組の方向性など、例示を交えつつ解説した。

実施日：平成27年5月12日（火）

会場：三井ガーデンホテル3階「平安」

内容：「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査」

成田空港活用協議会経済活性化部会長 小松 孝之

((株)ちばぎん総合研究所 調査部部長)

参加者：132名

○『第2回県内経済活性化ビジネスセミナー「ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～」』の実施

平成27年6月7日に、圏央道神崎IC－大栄JCT間が開通したことにより北関東や東北から成田空港や千葉県へのアクセス利便性が大きく向上することを受け、圏央道神崎－大栄間の開通の意義・効果を国や茨城県側の視点で講演いただき、会員が未開通区間（大栄JCT－松尾横芝IC）の早期整備の必要性について考える機会として、セミナーを開催した。

併せて、圏央道開通による時間短縮効果等を体感するため、バスツアーを実施した。

実施日：平成27年6月30日（火）

会場：つくば国際会議場

内容：① 「圏央道と北千葉道路の整備の展望と活用について」

国土交通省関東地方整備局道路部道路企画官 鹿角 豊氏

② 「いばらきから見た圏央道開通のインパクト」

茨城県企画部地域計画課課長 前田 優氏

(株)常陽産業研究所地域研究部担当部長 海老原 健氏

参加者：93名

イ マーケットリサーチ

○成田空港圏における物流動向調査の実施

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定やTPP大筋合意、アベノミクスの進展といった環境の変化は成田空港を取りまく物流、人流に対して大きな影響を与えるものと考えられる。

そこで、成田空港圏の物流業界の現状について、統計データの分析やアンケート調査をベースに整理をし、同圏内の経営者のビジネスマインドの変化等を明らかにすることで、将来の物流業界のビジネスチャンスを考える基礎データとすることを目的に実施した。

[調査の内容]

○調査期間：平成28年1月から3月

○調査対象：千葉県6,000社

東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県から各1,000社

※回答件数 1,054件（回答率 10.5%）

○調査項目：

- ・統計分析調査（事業所数、従業者数、貨物輸送実績 等）
- ・アンケート調査（①属性、②経営状況、③物流体制、④環境変化に伴う業績等への影響 等）

※マーケットリサーチの調査結果等については、平成28年度総会終了後に行うセミナーにおいて報告。

（4）要望活動

○首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道に係る要望に加え、新たに北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、千葉県及び関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：平成27年11月20日（金）

要望先：財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、副大臣、政務官ほか国土交通省幹部職員及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

(5) 会員提案の募集・具体化

○会員提案の募集

圏央道等の交通インフラの整備進展と併せて、利便性がますます向上する成田空港を活用して、本県の経済活性化につながる取組として、平成27年度の事業展開方針（案）の中で、協議会と連携・協働して取り組みたい事項に係る提案及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

提案状況：協議会と連携・協働で実現したいこと（15件）

○会員提案の検討・具体化（平成27年度事業への取り入れ）

平成27年度事業計画に位置付けられている以下の事業に会員提案を取り入れ実施した。

- ・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施
- ・千葉県高速バス実証運行事業と連携した空港利用促進事業の実施
- ・成田空港親子見学バスツアー（つくば）の実施
- ・ランドオペレーターとの商談会の実施
- ・インフルエンサーとメディアを利用した情報発信の実施
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおける千葉県の特産物のPRの実施
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおけるラジオを使った告知等の実施

(6) その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。
- 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- 会員が主催するイベントに対する後援や、会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。
 - ・ 成田国際空港(株)主催 宇都宮における国内旅行PRイベントへの参加
実施日：平成27年9月21日（月・祝）
会 場：栃木県宇都宮市 ベルモール1Fカリヨンプラザ
 - ・ 成田国際空港(株)、春秋航空日本(株)が出展 「広島空旅！2016」への参加
実施日：平成28年1月23日（土）、24日（日）
会 場：紙屋町シャレオ中央広場
 - ・ (株)幕張メッセが主催するJAPAN HALAL EXPO 2015の後援
実施日：平成27年11月25日（水）、26日（木）
会 場：幕張メッセ 国際会議場
- 会員による積極的な成田空港利用を促す取組として、会員旅行会社、会員エアラインと共同で、会員による成田空港利用の旅行への補助や既存の旅行商品に特別割引を付加した会員向け旅行商品のアレンジを実施した。

(参考) 会議等の開催状況

(1) 総会

期 日：平成27年5月12日（火）

場 所：三井ガーデンホテル千葉

議 題：①平成26年度事業報告について
②平成26年度収支決算について
③平成27年度事業計画（案）について
④平成27年度収支予算（案）について

(2) 幹事会

【第1回】

期 日：平成27年4月24日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 平成27年度総会議案について
①平成26年度事業報告・決算報告
②平成27年度事業計画（案）・予算(案)
③規約の改正
(2) 総会に向けた確認事項について
進行及び関係者の動き等
(3) 平成27年度事業スケジュール(案)について

【第2回】

期 日：平成27年6月1日（月）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 報告案件
①インバウンド調査結果について
②第1回県内経済活性化ビジネスセミナーについて
③ハラルエキスポ2015の後援について
④広告の掲載（日刊工業新聞）について
(2) 承認案件
①北海道との相互交流（パークゴルフ）について
②北関東エリアにおけるプロモーションについて
③ナリタファンの拡大について
④第2回県内経済活性化ビジネスセミナー（圏央道）について
⑤広告の掲載（千葉日報）について

【第3回】

期 日：平成27年6月23日（火）（書面による事業採択）

内 容：①平成27年度空港利用促進キャンペーンの展開について
②千葉大学による地方創生推進事業への協力について

【第4回】

期 日：平成27年7月14日（火）（書面による事業採択）

内 容：空港利用促進事業（成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画）について

【第5回】

期 日：平成27年9月7日（月）（書面による事業採択）

内 容：①県内向け空港利用促進事業（県庁庁舎内及び成田空港内パネル展示）について
②北関東プロモーション企画運營業務の委託先について

【第6回】

期 日：平成27年9月30日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）報告案件

- ①第2回県内経済活性化ビジネスセミナーについて
- ②北海道との交流の促進について
- ③北関東エリアにおける成田空港促進等プロモーションについて
- ④平成27年度空港利用促進キャンペーンについて
- ⑤学生コンテスト最優秀アイデアの具現化について

（2）承認案件

- ①会員向け成田空港利用促進キャンペーンについて
- ②県内向け空港利用促進事業（県民だより）について

【第7回】

期 日：平成27年11月16日（月）（書面による事業採択）

内 容：①首都圏における空港利用促進事業（東京スカイツリー及びJPタワー「KITTE」）について
②県民向け空港利用促進事業（中央旅券事務所でのPR）について
③首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望の実施について

【第8回】

期 日：平成27年12月18日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）報告案件

- ①北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーションについて
- ②北海道との交流の促進（パークゴルフ）について
- ③県内・首都圏における空港利用促進キャンペーンについて
- ④学生コンテスト最優秀アイデアの具現化について
- ⑤海外向け誘客促進事業（ランドオペレーターとの商談会）について
- ⑥首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望について

（2）承認案件

マーケットリサーチの実施について

【第9回】

期 日：平成28年2月25日（木）（書面による事業採択）

内 容：①県民向け空港利用促進事業（千葉都市モノレールの車両広告）
について

- ②学生コンテスト最優秀アイデアの具現化（モデルツアーの実施と成田空港におけるPR）について

【第10回】

期 日：平成28年3月25日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）報告案件

- ①北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーションについて
- ②北海道との交流の促進（パークゴルフ）について
- ③学生コンテスト最優秀アイデアの具現化について

（2）協議案件

- ①平成27年度事業報告（素案）及び決算（見込み）について
- ②平成28年度事業計画（素案）及び予算（素案）について
- ③平成28年度総会次第（素案）について

平成27年度 収支決算

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額 (①)	決算額 (②)	差引き (②-①)	摘要
1. 負担金	46,700,000	46,700,000	0	
2. 会費	8,050,000	8,000,000	△50,000	1社退会
3. 繰越金	10,696,014	10,696,014	0	
合計	65,446,014	65,396,014	△50,000	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額 (①)	事業間振替額 (②)	最終予算額 (①+②)	決算額 (③)	差引き (①+②-③)	摘要
1. 活動費	43,000,000	0	43,000,000	37,301,524	5,698,476	
(1) 誘客促進費	14,000,000	△3,670,000	10,330,000	7,932,155	2,397,845	
国内線就航先との交流促進	10,000,000	△2,000,000 ※北関東へ振替 △320,000 ※ナリタファンへ振替	7,680,000	7,393,284	286,716	北海道との交流促進(パークゴルフ)、学生アイデア等
海外向け誘客促進	4,000,000	△910,000 ※北関東へ振替 △440,000 ※県内首都圏へ振替	2,650,000	538,871	2,111,129	ランドオペレーターとの商談会、タイ向けプロモーションの取りやめ(政情不安)
(2) 空港利用促進費	18,000,000	3,670,000	21,670,000	21,651,353	18,647	
北関東におけるプロモーション	6,000,000	5,910,000	11,910,000	11,902,027	7,973	北関東プロモーション(つくば)、学祭広告等
県内・首都圏における利用促進キャンペーン	6,000,000	440,000	6,440,000	6,435,143	4,857	成人式チラシ作成、モノレール広告制作等
国内外就航先向けナリタPR	3,000,000	△3,000,000 ※北関東へ振替	0	0	0	タイ向けテレビ番組制作取りやめ(政情不安)
ナリタファンの拡大に向けた学生アイデア	3,000,000	320,000	3,320,000	3,314,183	5,817	女子旅ガイドブック制作
(3) ビジネス支援費	8,000,000	0	8,000,000	5,232,893	2,767,107	
経済活性化セミナー	4,000,000	0	4,000,000	1,236,893	2,763,107	圏央道開通に伴う圏央道ツアー・つくばセミナー、インバウンド動向調査
マーケットリサーチ	4,000,000	0	4,000,000	3,996,000	4,000	物流動向調査等
(4) 活動共通費	3,000,000	0	3,000,000	2,485,123	514,877	旅費・広告費等
2. 運営費	16,800,000	0	16,800,000	16,711,481	88,519	
(1) 人件費	12,500,000	0	12,500,000	12,574,242	△74,242	事務局職員給与、諸手当等
(2) 管理費	3,300,000	0	3,300,000	3,202,961	97,039	貸室料、備品・PCリース代等
(3) 事務費	1,000,000	0	1,000,000	934,278	65,722	印刷費、電話代他
3. 予備費	5,646,014	0	5,646,014	0	5,646,014	
(1) 予備費	5,646,014	0	5,646,014	0	5,646,014	
合計	65,446,014	0	65,446,014	54,013,005	11,433,009	

※ 事業間振替額は、事業採択において幹事会に諮り、承認を得たものである

【収支差額の部】

(単位:円)

科目	決算額	摘要
収入の部	65,396,014	
支出の部	54,013,005	
収支差額	11,383,009	

※ 平成 27 年度の収支差額については、全額を平成 28 年度に繰り越して用いる。

平成27年度 成田空港活用協議会監査結果について

平成27年度成田空港活用協議会決算について、適正に執行されていると認める。

平成28年4月21日

成田空港活用協議会

監事 花島 敬一郎



監事 平 栄三



平成28年度 事業計画（案）

《事業展開方針》

「東京オリンピック・パラリンピックの一部競技の県内開催」「訪日外国人の増加」「首都圏空港の機能強化」など、千葉県や成田空港を取り巻く環境が引き続き大きく変化する中で、空港機能の強化やアクセス利便性の向上など、進化を続ける“ナリタ”の魅力を発信し、より一層「存在感」を高めるとともに、会員や就航先と連携した取り組みの更なる展開などにより、成田空港を中心としたヒト・モノの流れを大きくし、成田空港と千葉県経済の活性化に向けた事業展開を図っていく。

○ “ナリタ”の魅力を発信し、より一層「存在感」を高める

- 関東圏において、交通利便性や成田空港ならではの魅力（豊富な国際線ネットワーク、国内線LCC等）の情報発信
- 会員連携やWEBの活用による、インバウンド観光促進に向けた千葉県の魅力などの情報発信
- 県内の“ナリタファン”拡大に向けた取組や女子旅×成田LCCを活用した情報発信

○ これまで培った連携・交流の更なる発展

- 協議会設立以降、重点的に進めてきた北海道との相互交流の更なる展開
- これまでに培った就航先との連携を活かして、スポーツツーリズムなどをテーマとした、「誘客」「送客」一体となった双方向の地域間交流の促進
- 会員が実施する事業と連携した効果的な事業展開

○ 会員のビジネス展開に向けた会員相互連携の強化と、事業に役立つ情報・場の提供の充実

- 会員の新たな事業やビジネス創出のきっかけとなる会員同士の交流・協働に向けた場づくり
- 成田空港と千葉県を取り巻く最新動向や時流を捉え、各会員のニーズを踏まえて事業・ビジネスの幅を広げる情報の共有を図るとともに、成田空港やこれを有する千葉県の優位性を活用した地域活性化等に関する活動を展開

《事業内容》

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

- 平成25年度～27年度と推進してきた北海道との交流を踏まえ、双方向での交流を引き続き推進する。

[展開イメージ]

- ① アクティブシニア層をターゲットにしたパークゴルフを活用した交流
- ② 道県が連携したPR 等

- 学生連携企画として実施した「女子旅×成田LCC」の発展形として、WEBなどを有効活用しながら、就航先から成田空港、千葉県へと来てもらえるよう情報発信を行う。

- 就航先の空港利用促進団体などこれまで培った連携を活かし、スポーツツーリズムをテーマとした相互交流を推進する。

[展開イメージ]

- プロ野球やサッカーを活用した、誘客・送客一体となった双方向交流 等

- 県が実施する「成田空港と観光地を結ぶ高速バス実証運行事業」など、会員が実施する事業と連携して、千葉の魅力発信と受け入れ体制の構築支援などに効果的な事業を展開する。

イ 海外向け誘客促進

成田空港からの訪日外国人の県内誘客を図るため、会員や関連する組織と連携・協力して、情報やノウハウを有する会員のサポートを得ながらWEBを活用した情報発信、会員と連携したプロモーションや商談会などを展開していく。

[展開イメージ]

- ① 中国語及び英語のポータルサイト等を利用したWEBでの情報発信
- ② 県など会員と連携した、現地でのプロモーション
- ③ ランドオペレーターとの商談会 等

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

- 今年度中に予定されている圏央道茨城県区間の開通により、成田空港と直結する東北道や関越道沿線を中心に、空港利用者の取り込みに向けて、会員などと連携・協力して、PR・情報発信を展開していく。

[展開イメージ]

- ① 北関東エリアの商業施設等でのイベント開催
- ② メディア（新聞・雑誌・地域情報誌等）を活用したPR・情報発信 等

- 成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル、アクセス利便性のPR・情報発信キャンペーンを、県内・首都圏エリアを中心に継続的に展開していく。

[展開イメージ]

- ① 県内の人口が集中するエリアでのPR
- ② 会員市町村と連携した成人式キャンペーン 等

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

主に県内の小学生など若年層に成田空港をより身近な存在として認識してもらい、“ナリタファン”の拡大へつなげるため、空港見学ツアーなどを行う。

[展開イメージ]

- ① 親子を対象とした成田空港見学バスツアーの実施
- ② 社会科見学実施に向けた、教職員向け成田空港見学モニターツアー 等

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

成田空港や圏央道等を活用したビジネスの創出に向け、会員主導による交流・協働の場づくりを行う。

[展開イメージ]

- ① 成田空港からの二次交通の確保に向けた検討
- ② 成田空港や圏央道等を活用した産業振興に向けた検討 等

イ 経済活性化セミナー

成田空港や千葉県を取り巻く現状や 県内経済の最新動向及び今後の見通しなどを会員間で共有するとともに、会員の事業展開に資するセミナー等を開催する。

[展開イメージ]

- ① マーケッツリサーチ結果のフィードバック
- ② 会員のニーズ等を踏まえたセミナーの開催 等

ウ マーケッツリサーチ

圏央道の開通などで、より一層高まる成田空港や千葉県のポテンシャルを最大限に活かした産業振興や地域活性化などに向け、会員の事業やビジネスの新たな展開に資する各種調査や情報収集を実施する。

(4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、関連する団体と連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

(5) 会員提案の検討・実施

- 会員からの提案（意見・アイデア等）を協議会事業に反映させるため、情報・ノウハウを有する会員と積極的にコミュニケーションを図り、会員の協力・サポートを得ながら事業を展開する。
- 事業計画の方向に沿った事業提案や幅広い意見・アイデア等について、引き続き募集し、事業検討に活用していく。

(6) その他

- 協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
- 会員企業・団体の広報媒体の活用や、会員が主催するイベントへの協賛・後援等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズをふまえ検討・実施していく。

- 成田空港の利用促進に向けて、会員の積極的な空港利用を促す取組を検討・実施していく。

平成28年度 収支予算 (案)

議案第5号

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 負担金	46,700	46,700	0	内訳:P32
2. 会費	7,800	8,050	△250	内訳:P33～36
3. 諸収入	0	0	0	
4. 繰越金	11,383	10,696	687	
合計	65,883	65,446	437	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 活動費	42,300	43,000	△700	
(1) 誘客促進費	17,000	14,000	3,000	国内線就航先との交流促進 13,000(⑦10,000) 海外向け誘客促進 4,000(⑦4,000)
(2) 空港利用促進費	12,800	18,000	△5,200	北関東エリアにおけるプロモーション 2,500(⑦6,000) 県内・首都圏における利用促進キャンペーン 8,500(⑦6,000) ナリタファンの拡大に向けた取組 1,800(⑦3,000)
(3) ビジネス支援費	9,500	8,000	1,500	会員間の協働の場づくり 3,000 経済活性化セミナー 2,500(⑦4,000) マーケットリサーチ 4,000(⑦4,000)
(4) 活動共通費	3,000	3,000	0	旅費, 会議費, 広報宣伝費(パンフレット・ポスター 作成費・その他広告費)等
2. 運営費	17,800	16,800	1,000	
(1) 人件費	13,500	12,500	1,000	事務局職員給与, 諸手当等
(2) 管理費	3,300	3,300	0	事務所賃料, 事務機器リース料等
(3) 事務費	1,000	1,000	0	消耗品費, 印刷製本費, 手数料等
3. 予備費	5,783	5,646	137	
(1) 予備費	5,783	5,646	137	会員提案や活動費等に充当
合計	65,883	65,446	437	

(備考) 千葉県負担金は、活動費に充当する。

[負担金企業・団体会員 14]

(単位：千円)

千葉県	25,000
成田国際空港株式会社	20,000
成田市	600
一般社団法人千葉県商工会議所連合会	100
千葉県経済同友会	100
一般社団法人千葉県経済協議会	100
一般社団法人千葉県経営者協会	100
千葉県商工会連合会	100
千葉県中小企業団体中央会	100
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	100
京成電鉄株式会社	100
一般社団法人千葉県バス協会	100
一般社団法人千葉県タクシー協会	100
公益社団法人千葉県観光物産協会	100

[市町村会員 45]

■ 3口 (15万円)

富里市	栄町	芝山町
香取市	神崎町	横芝光町
山武市	多古町	

■ 1口 (5万円)

千葉市	鴨川市	酒々井町
銚子市	鎌ヶ谷市	東庄町
館山市	君津市	九十九里町
木更津市	四街道市	一宮町
松戸市	袖ヶ浦市	睦沢町
茂原市	八街市	長生村
佐倉市	印西市	白子町
東金市	白井市	長柄町
旭市	南房総市	長南町
柏市	匝瑳市	大多喜町
勝浦市	いすみ市	御宿町
市原市	大網白里市	鋸南町
我孫子市		

[企業・団体会員 88]

■ 2口 (10万円)

(株) 京 葉 銀 行

千 葉 テ レ ビ 放 送 (株)

(株) 千 葉 銀 行

(株) 千 葉 日 報 社

(株) ちばぎん総合研究所

(株) ベ イ エ フ エ ム

(株) 千 葉 興 業 銀 行

■ 1口 (5万円)

アイベックスエアラインズ(株)

(株) グランビスタ ホテル&リゾート
鴨 川 シ ー ワ ー ル ド

(株) 秋 葉 牧 場

(株) グリーンポート・エージェンシー

阿 部 建 設 (株)

京 成 ト ラ ベ ル サ ー ビ ス (株)

(株) 飯 沼 本 家

京 成 バ ス (株)

イ オ ン (株)

(公財) 航空科学博物館

泉観光バス(株)千葉営業所

国 際 空 港 上 屋 (株)

(株) N A A リ テ イ リ ン グ

小 湊 鉄 道 (株)

(株) エム・アイ・エス・インターナショナル

(株) 坂 戸 工 作 所

(株) オリエントラルランド

参 光 タ ク シ ー (株)

(株) かずさアカデミアパーク

(株) J T B コ ー ポ レ ー ト セ ー ル ス

(株) 鐘 木 商 会

ジ ェ ッ ト ス タ ー ・ ジ ャ パ ン (株)

(株) 北 四 国 産 業

芝 山 鉄 道 (株)

近畿日本ツーリスト(株)
首都圏千葉団体旅行支店

春 秋 航 空 日 本 (株)

全国農業協同組合連合会
千葉県本部

千葉トヨペット(株)

全日本空輸(株)成田空港支店

塚本総業(株)

(株)相互

(株)ティエフケー

ダイユウホーム(株)

東京ガス(株)佐倉支社

千葉インバウンド促進協議会

東京空港交通(株)

(一財)千葉県勝浦海中公園センター

(株)トヨタレンタリース新千葉

千葉県ゴルフ協会

(株)トヨタレンタリース千葉

千葉県市町村職員共済組合
オークラ千葉ホテル

成田空港交通(株)

千葉県酒造組合

成田空港レンタカー協議会

千葉県酒類販売(株)

大本山成田山新勝寺

千葉県貿易協同組合

(一社)成田市観光協会

千葉県旅館ホテル
生活衛生同業組合

成田商工会議所

千葉県レクリエーション都市開発(株)

成田タクシー(株)

(一社)千葉県レンタカー協会

成田地区ホテル業協会

(株)千葉交タクシー

日東交通(株)

千葉交通(株)

日本航空(株)

千葉構内タクシー(株)

(株)日本旅行千葉支店

(公財)ちば国際コンベンションビューロー

バニラ・エア(株)

千葉商工会議所

ビー・トランセホールディングス(株)

千葉中央バス(株)

東日本高速道路(株)
関東支社千葉管理事務所

東日本電信電話(株)
千葉事業電業部

松崎交通(株)

平山建設(株)

三田下総交通(株)

福井電機(株)

三井不動産(株)

船橋交通(株)

三菱地所・サイモン(株)
酒々井プレミアム・アウトレット

県立房総のむら

明和興産(株)東京ドイツ村事業部

北総鉄道(株)

ユアサ・フナシヨク(株)

(株)幕張メッセ

米屋(株)

(株)マザー牧場

■ **会員数合計 147**
(平成28年5月16日現在)

平成27年度 事業報告 (まとめ)

事業の6本柱

事業項目

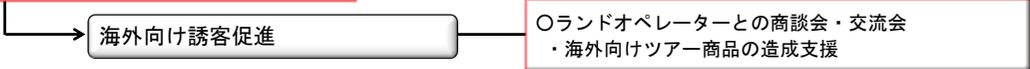
主な実績・成果

事業① 国内線利用者の県内観光の推進



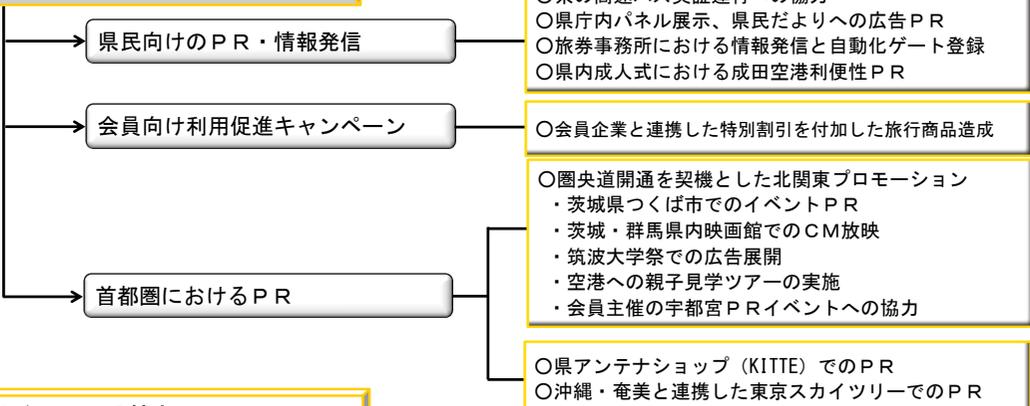
- 札幌でのメディア訪問 [メディア露出] 5件
- パークゴルフモニターツアー [メディア露出] 1件
 - ・北海道側 40名、千葉県側 120名参加
- 学生自らによる広島、札幌でのプロモーション
 - ・地元学生との意見交換

事業② インバウンド県内観光の推進



- ランドオペレーターとの商談会・交流会 [メディア露出] 3件
 - ・千葉インバウンド促進協議会と連携
 - ・ランドオペレーター 15名、会員企業等 23名 参加

事業③ OUR AIRPORTとしての利用促進



- 高速バス実証運行と連携した利用促進プレゼント企画 [メディア露出] 3件
 - ・バス利用者 10,860人、応募者数 5,998件
- 県庁内パネル展示(9月)、県民だより11月号(約200万部) 広告掲載
- 旅券事務所における自動化ゲート出張登録 [メディア露出] 2件
 - ・登録者 314人(2日間)
- 県内成人式連動キャンペーン
 - ・新成人 約4万人

事業④ ナリタファンの拡大



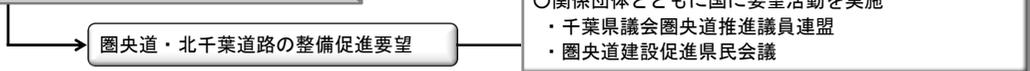
- 茨城県つくば市でのPRイベント(イースつくば) [メディア露出] 3件
 - ・千葉県知事、成田市長、成田国際空港株式会社社長によるPR
 - ・千葉県知事によるラジオ出演PR
 - ・来場者 約1万人
- イオンシネマでのCM放映(茨城2館、群馬2館)
 - ・9月～3月(約半年間)放映(来館者数 約58万人)
- 空港への親子見学バスツアー [メディア露出] 2件
 - ・参加親子 19組44名
- 県アンテナショップ「KITTE」(丸の内)でのPR
 - ・リーフレット200部配布
- 沖縄・奄美と連携した東京スカイツリーでのPR [メディア露出] 2件
 - ・リーフレット等3,000部配布
- 「女子旅×成田LCC」サポートブック [メディア露出] 12件
 - ・学生自らが、企画から制作まで主体的に参画、SNS情報発信
 - ・国内線LCC就航先での設置(6道県)
 - ・就航先プロモーションに向け、千葉県知事表敬訪問

事業⑤ 成田空港発の県内企業ビジネスの創出



- 県内のインバウンド動向について調査結果を報告 [メディア露出] 4件
 - ・参加会員 132名
- 圏央道開通を契機に
 - その利便性・効果等についてバスツアーを実施 [メディア露出] 7件
 - ・参加会員 94名
- 成田空港圏内における物流動向を把握する基礎的な調査を実施

事業⑥ 成田空港の利便性向上



- 財務大臣、国土交通大臣等に要望を実施 [メディア露出] 2件

成田空港活用協議会
平成27年度 事業報告
(資料編)

目 次

(1) 誘客促進事業

- ア 国内線就航先との交流促進 1
- イ 海外向け誘客促進事業 14

(2) 空港利用促進事業

- ア 関東圏でのナリタPR 16
- イ 県内・首都圏でのナリタPR 23
- ウ 会員向け利用促進 28

(3) ビジネス支援事業

- ア 経済活性化セミナー 29
- イ マーケットリサーチ 33

(4) 要望活動 35

(5) 会員提案の募集・具体化 37

(6) その他 38

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

北海道との交流促進事業

平成25年度、26年度と実施してきた北海道との交流をさらに促進するため、平成26年度の意見交換会で確認した、教育旅行のPRの場のセッティングやゴルフ・パークゴルフを活用した相互交流、道県連携したPRの実施などについて具体的な検討を行い、実施可能となったものから順次実施した。

[展開]

北海道との交流促進にあたっては、北海道側等と具現化に向けた協議を進め、順次具現化を図った。

1 ゴルフ・パークゴルフを通じた交流促進

①北海道におけるPR

千葉県が行うチーバくんキャラバン隊と連携して、「この冬は、LCCで成田空港を使って、気軽に千葉でゴルフ・パークゴルフをしよう！」をテーマに、北海道新聞等札幌の新聞社やフリーマーケットを訪問し、PRを行った。

日程 新聞社：10月2日（金）、フリーマーケット：10月3日（土）

訪問先 新聞社：北海道新聞、道新スポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン
フリーマーケット：ゴールデンマーケット（札幌市 つどーむ）



パークゴルフクラブを持って北海道新聞社の取材を受けるチーバくん

[メディア露出] 5件

- 新聞 スポニチ（10月3日）、日刊スポーツ（10月17日）
道新スポーツ（10月21日）、北海道新聞（1月10日）
- その他 どうしんウェブ（10月3日）

②北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアー

増大するアクティブシニア層をターゲットとして、北海道と千葉県の双方で盛んなパークゴルフを活用した継続的な相互交流を推進するため、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 千葉2016」と交流会を開催した。

また、大会の開催にあわせて、新千歳からLCCで成田空港を使って千葉県で観光とパークゴルフをプレーするモニターツアーも併せて実施した。

《パークゴルフ大会》

- ・日 時：平成28年3月11日（金）9：00～14：00
- ・場 所：蓮沼海浜公園パークゴルフ場
- ・内 容：

開会式

- ・主催者挨拶（千葉県レクリエーション都市開発(株)池田社長）
- ・来賓あいさつ（千葉県パークゴルフ協会連合会高木理事長）
- ・ルール説明（千葉県パークゴルフ協会連合会末木事務局長）

記念撮影

競技

表彰式（男女とも1位から10位及びラッキー賞、BBを授与）

- ・参加者：計160名
北海道からのモニターツアー参加者 40名
公募した千葉県のパークゴルフ愛好者 120名



記念撮影



プレー風景



表彰式

《交流会》

- ・日 時：平成28年3月11日（金）17：00～18：30
- ・場 所：蓮沼ガーデンハウスマリーノ
- ・内 容：主催者挨拶（石井会長）
地元歓迎あいさつ（椎名山武市長）、
乾杯（菅田日本パークゴルフ協会副会長）
千葉県産品などのプレゼント抽選会など
- ・参加者：
パークゴルフ大会参加者
北海道経済連合会、北海道側パークゴルフ関係者
千葉県パークゴルフ協会連合会、関東パークゴルフ場協議会
千葉県、山武市、成田国際空港㈱ など 94名



石井会長あいさつ



プレゼント抽選会では、椎名山武市長から山武杉で作ったクラブの模型をプレゼント



えべつ角山パークランド（北海道江別市）の
日高社長が北海道のパークゴルフ場をPR



交流会風景

《モニターツアー》

北海道・千葉パークゴルフ交流大会の開催にあわせて、LCCや千葉県でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・日程：平成28年3月10日（木）～12日（土）
（募集期間：12月25日（金）～2月5日（金））
- ・代金：49,800円
- ・定員：40名（募集後、短期間に定員となり締め切り）
- ・旅行実施・企画：(株)JTBコーポレートセールス（協議会会員）
- ・利用航空会社：ジェットスター・ジャパン(株)（協議会会員）
- ・ツアー行程：

日次	月日	行程	食事
1日目	3月10日 (木曜日)	8:30頃 新千歳空港→成田空港＝ホテルにて昼食＝蓮沼海浜公園 パークゴルフ場(ホテル併設36ホール)＝ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> × 昼 <input type="checkbox"/> ホテル 夜 <input type="checkbox"/> ホテル
2日目	3月11日 (金曜日)	午前：蓮沼海浜公園パークゴルフ場にて 北海道・千葉交流パークゴルフ大会開催／表彰式 午後：自由時間（パークゴルフもお楽しみいただけます） 夜：交流会（千葉からも多くのパークゴルフ愛好者が参加） （千葉県産品などが当たる抽選会も開催） 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ホテル (交流会)
3日目	3月12日 (土曜日)	8:30 ホテル＝海の駅九十九里＝イチゴ狩り(山武市) ＝しすいの森パークゴルフ場(36ホールのコース)＝成田山 新勝寺＝成田空港→新千歳空港(19:50頃)到着後各自解散	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ×



山武市でのイチゴ狩り



成田空港から帰途に

[アンケート結果] n = 41名

○ツアーの満足度について

満足：29名 やや満足：10名 普通：1名 無回答：1

○新千歳―成田間を多くの航空便（1日15往復）が就航していることについて

利用したことがある：8名 知っていたが利用したことはない：10名

知らなかった：23名

[参画会員] 泉観光バス(株)千葉営業所、(株)JTBコーポレートセールス、ジェットスター・ジャパン(株)、千葉県レクリエーション都市開発(株)、(株)トヨタレンタリース千葉、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、千葉県、山武市

[メディア露出] □新聞 朝日新聞(3月13日)

2 道県連携したPR

11月7(土)、8日(日)に実施したつくば市のショッピングモール「イーアスつくば」でのプロモーションにおいて、ポスターの掲示とチラシの配布により北海道の観光PRを行った。

また、女子旅×成田LCC冊子を、北海道庁の協力を得て、北海道内の大学(北海道大学、小樽商科大学、天使大学、藤女子大学、北星学園大学)に、合計1500部設置



「イーアスつくば」における北海道の観光PR

3 北海道側からの教育旅行PRの場のセッティング

千葉県高等学校長協会の理事会において、北海道観光振興機構が教育旅行に係るプレゼンテーションと教育旅行研修会(招へい事業)の説明を実施。

日時:平成27年9月4日(金) 午前9時～

場所:千葉県教育会館

参加者:高等学校の校長 約50名



北海道観光振興機構からの
プレゼンテーション

[総括]

- 平成25年、26年度と実施した北海道の経済・観光団体等との意見交換を踏まえ、協議会会員や北海道側の経済団体等と連携して、ゴルフ・パークゴルフのPRやパークゴルフ大会・モニターツアーの実施、教育旅行のPRの場のセッティングなどを実現することができた。
- 特に、パークゴルフ大会・モニターツアーでは、北海道と千葉のパークゴルフ愛好者がともにプレーしたり、交流会で懇親を深めた他、北海道・千葉県のパークゴルフ関係者も参加いただき、今後の継続的な交流への足掛かりとすることができた。
- また、モニターツアーでは、普段あまりLCCに馴染みのないシニア層に、LCCを体験していただいたが、ツアーの満足度についてのアンケートでは、約98%の方が「満足」または「やや満足」と回答しており、概ね好評で、今後は、成田LCCを使って、気軽に千葉に来て、パークゴルフをプレーしたいという言葉が数多く寄せられた。
- 一方、道・県の共同プロモーションでは、平成28年3月26日の北海道新幹線の開通に向けて、北海道側は、新幹線を重点的にプロモーションするという方針だったことから、十分な連携が取れなかった。

学生コンテスト最優秀アイデアの具現化

若者目線によるナリタファン拡大を図るため、昨年度の学生連携事業で生み出された最優秀アイデア『女子旅で！学生に成田ブームを巻き起こせ！！』を学生の主導的な参画のもとで事業化。

若者目線でのガイドブックの製作、コミュニケーションツール（SNS）の活用、これらを全面的に用いた就航先プロモーションを学生自らが行うことにより、成田空港の利用促進を図るとともに県内の新たな魅力を発掘し、多数のメディア露出を図りつつ、LCCを使った旅行需要の喚起を行った。

〔展開〕

1. 「全体ミーティング及びLCCとの意見交換会」実施について

時期：平成27年9月3日（木） 場所：成田空港内会議室

○全体ミーティング

- ・6月に実施した、キックオフミーティング以降「ガイドブックチーム」、「プロモーションチーム」に分かれ企画検討を進めており、それぞれの進捗報告やSNS展開についての意見交換を実施した。（学生15名参加）

○LCCとの意見交換会

- ・学生たちがLCCへの理解を深めることが企画進行に重要であると考え、協議会会員である国内LCC3社（ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、バンナ・エア(株)）のプロモーション担当者をゲストに学生との意見交換会を実施した。



全体ミーティング及びLCCとの意見交換会の様子

[メディア露出] 3件

- 新聞 千葉日報（9月9日） 産経新聞（9月21日）
- テレビ チバテレビ（9月3日）

2. SNS展開について

- 平成27年9月11日から Facebook ページを開設し、「女子旅×成田LCC」をロゴに「成田LCCで女子旅」というアカウント名で活動中。
- 企画の説明、LCCの説明、千葉県内おすすめスポット情報、女子旅情報などを紹介していく。
- 平成27年度に66投稿を実施した（リーチ数89,415、平均リーチ数1358）



Facebook ページ



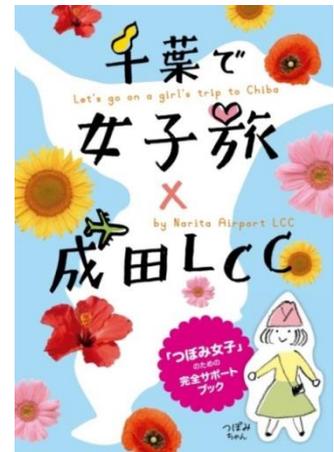
アイコン

3. 【千葉で女子旅×成田LCC】冊子について

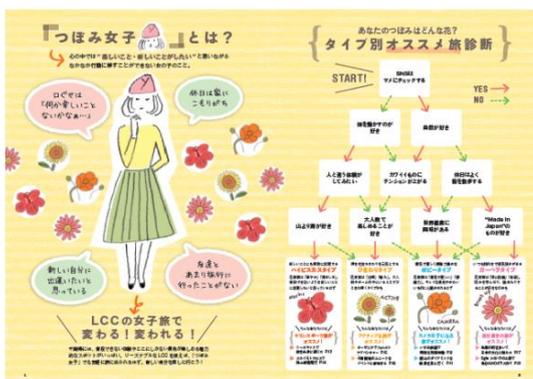
発行日：平成27年12月11日（金）
 仕様：A5判、24P 発行部数：3万部

■冊子概要

- ・「つぼみ女子の紹介」から「タイプ別おすすめ旅」、「Wish List」などを通し、ひと花咲かせるまでを案内。
- ・LCC紹介ページではLCCを知ってもらい、予約から搭乗までをサポート。
- ・千葉県紹介ページでは学生目線で選出したスポット7か所を紹介。



表紙



つぼみ女子紹介ページ



LCC 紹介ページ



千葉県体験紹介ページ（佐原）

■設置場所

- ・各道県のご協力により、北海道、香川、愛媛、佐賀、大分、熊本の大学等に設置（約 8, 0 0 0 部）、成田国際空港㈱などが実施する就航先でのプロモーションでの配布、一部県内でも配布した。
- ・成田空港活用協議会HP内にダウンロードページを作成し、自由にダウンロードできるよう展開。
- ・平成27年度内で2万部配布した。平成28年度のプロモーションで1万部配布予定。

4. 広島・札幌におけるプロモーション活動について

■プロモーションに先立った知事表敬訪問

時期：平成28年1月13日（水）

- ・石井会長とともに、学生7名が、広島及び札幌のプロモーションに先立って、森田知事を表敬訪問した。
- ・知事からは、「感受性の強いみなさんが、千葉県の魅力をどんどん発信してほしい」との激励の言葉をいただいた。



知事が直接学生を激励



集合写真

[メディア露出] 9件

- 新聞 読売新聞、産経新聞、日経新聞（1月14日）
朝日新聞（1月16日）、千葉日報、産経新聞（1月17日）
東京新聞（1月19日）
- テレビ チバテレビ（1月13日、16日）

■広島でのプロモーション活動

時期：平成28年1月22日（金）～1月24日（日）

- ・広島県学生との意見交換会を実施（広島県担当者も出席）
- ・『広島空旅！2016』（場所：紙屋町シャレオ中央広場）において、冊子の配布活動やステージイベントへ参加した。

※成田国際空港㈱、春秋航空日本㈱の参加するブースでの共同プロモーション

- ・広島県の協力により、広島県内7大学へタダコピ（大学内設置の無料コピー機でコピー用紙の裏面が広告になっている）を実施した。
- ・広島県内大学へ冊子の設置依頼を行い、155部設置した。
- ・広島の女子学生が紹介する広島女子旅企画を実施し、Facebookで紹介した。
- ・広島県の学生2名を千葉に招待しての女子旅ツアーを実施した。

（平成28年3月21日（月）～3月22日（火））



タダコピデザイン



意見交換会の様子



意見交換会集合写真



広島空旅！2016 ステージイベント



Facebook パネル



広島での女子旅（尾道）



広島での女子旅 Facebook での紹介画面

■札幌でのプロモーション活動

時期：平成28年2月20日（土）～2月21日（日）

- ・札幌の大学生、会員エアライン2社（ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)）との意見交換会を実施した。
- ・札幌駅前通地下広場『チ・カ・ホ』イベントスペースでのプロモーション活動を実施した。（Facebook パネルでの写真撮影、女子旅冊子400部配布）
- ・札幌女子学生が紹介する札幌女子旅企画を実施し、Facebook で紹介した。



意見交換会の様子（ジェットスター・ジャパン）



意見交換会の様子（バニラエア）



意見交換会（集合写真）



チ・カ・ホでのプロモーションの様子



札幌での女子旅



札幌での女子旅 Facebook での紹介画面



札幌北星学園大学ボランティア・コパン部のブログでの紹介

■モニターツアーの実施について

時期：平成28年3月27日（日）～3月29日（火）

○札幌テレビ「ジョシスタ あいく的」番組の招待、また、福岡、松山、広島からSNSにおいて情報発信力のある人3名を招待し、女子旅×成田LCCモニターツアーを実施した。

※以下の情報発信事業については、平成28年度継続事業として実施

○番組の放送は4月25日（月）、5月2日（月）深夜の2週に渡って放送された。

○福岡、松山、広島の3名については、SNSでLCCを使った千葉への女子旅の魅力について情報発信を行った。



成田空港第3旅客ターミナルビル



ロケ風景

鋸山

[参画会員]

ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、(株)ちばぎん総合研究所、成田国際空港(株)、(一社)成田市観光協会、バニラ・エア(株)、千葉県、成田市、

[総括]

- 昨年アイデアコンテストからの流れを引き継ぎ、事業化に向けて引き続き参加表明をした学生が主体的に活動を実施した。
- 学生とエアラインとの意見交換に加え、千葉県観光誘致促進課などにも話を聞き、LCCや千葉県の魅力についての理解を深めることができた。
- サポートブックの作成にあたっては、学生がスポットの選定、体験をし、冊子レイアウトデザインの制作などを経て『女子旅×成田LCC』サポートブックを完成させた。
- プロモーションの実施にあたっては、知事への表敬訪問を行い、知事から熱い激励を受け、学生たちも大いに元気づけられた。
- 広島・札幌でのプロモーションに協力してもらえる現地の学生を探るところから、具体的に意見交換やプロモーションイベントの実施まで、学生が調整を行い実現させた。
- 現地の学生との意見交換会では就航先の学生にLCCや千葉県のことを理解してもらい情報発信してもらおうとともに、現地の学生の特徴や考え方などを学ぶことができ、大変有意義なものであった。
- Facebook ページなどの「いいね」数がまだ少ないことや、就航先の方にまで及んでいないなどの課題もあるため、WEBでの情報発信を強化していく必要がある。

イ 海外向け誘客促進事業

ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

千葉インバウンド促進協議会と共催で、成田空港からの訪日外国人の県内誘客を目的に、ランドオペレーター（※）との商談会・交流会を実施した。

商談会では、両協議会の観光・宿泊・交通事業に係わる会員が、訪日外国人の増加が著しい東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターに直接働きかけることで、千葉県の魅力や成田空港の利便性を伝え、両地域からの更なる観光客の増加を目指した。

※ランドオペレーター

主に海外旅行で、宿や観光地、現地の交通手段など往復航空機以外の「地上手配」を専門に行う会社のこと。海外に支店等を持ち独自に地上手配のできる大手旅行会社以外は、現地に詳しいランドオペレーターに手配を委託しているため、旅行商品の造成にも大きく関わっている。



多くのブースが並ぶ会場の様子



各ブースでの商談の様子

[展開]

- 商談会では、ランドオペレーター15社に対し、32の会員企業・団体が参加した。会場にはランドオペレーターのブースを設置し、会員企業・団体が各ブースを回り商談を行った。
- 商談会は、1コマ10分で進行されたが、時間をオーバーする場面も見られた。また、商談会が盛況だったこともあり、急きょ商談の時間を1コマ増やしたが、それでも時間が足らず終了後も商談を続けている参加者もあった。

[メディア露出] 3件

- 新聞 日本経済新聞（12月3日）
- テレビ NHK（12月4日）
チバテレビ（12月4日）

[参加者等]

- 会 員 32 団体（社） 47 名 （千葉インバウンド促進協議会員を含む）
- 協力会員 千葉インバウンド促進協議会

[総括]

- 昨年度までは海外向け誘客促進事業においては旅行会社を招請していたが、商品造成に繋がらなかったため、実質的に手配を行っているランドオペレーターとの商談会を企画した。
- また、昨年度実施したインバウンド調査の結果から、千葉県への来訪者もアジア系が多いこと、千葉県にはまだまだ知られていない魅力が多いことが分かった。
そこで、東アジアや東南アジア地域を手掛けるランドオペレーターに直接働きかけることで旅行商品の造成につなげ、千葉県への誘客促進につなげる試みを実施した。
- 千葉インバウンド促進協議会との共催により、両会員の参加を促したことで、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことが出来、活発な商談に繋がられた。
- 時間配分については商談会 90 分、交流会 90 分で実施をしたが、商談会の時間がやや足りなかったと考えられたため、時間配分について再考する必要がある。

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーション

6月7日の圏央道神崎IC-大栄間JCTの開通により、成田空港へのアクセスが飛躍的に向上し、多くの利用客が見込める北関東方面をターゲットにして、会員や就航先と連携したPR・情報発信を展開し、成田空港の利用促進を図った。

[展開]

1 つくば市におけるプロモーションイベント

- 「ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！圏央道とつながる成田空港」をテーマに、11月7日・8日の2日間、つくば市のショッピングモール「イーアスつくば」で、会員や就航先などがステージイベントと特設ブースでPRを行った。
- ステージイベントでは、11月7日は、協議会副会長である小泉一成成田市長と齊田正己成田国際空港(株)代表取締役副社長によるトークセッションに、森田健作千葉県知事と歌手の森口博子さんも応援に駆け付け、圏央道がつながり、つくばからのアクセスが向上した成田空港や千葉県などの魅力をPRした。

また、協議会会員企業や国内線就航先団体のステージでのPRタイムでは、それぞれの団体が、成田空港の利便性や成田空港へのアクセス、就航先の魅力のPRを行い、チーバくん（千葉県）やクウタン（成田空港）をはじめ、国内各就航先のご当地キャラクターが登場するなど、会場を大いに盛り上げた。



トークセッションで成田空港などの魅力をPRする小泉成田市長と齊田成田国際空港（株）副社長



応援に駆け付けた森田知事と森口博子さん



協議会会員の航空会社と国内線就航先が、
ステージで魅力をPR



ご当地キャラも会場を盛り上げました

- 特設ブースでは、協議会会員企業や国内線就航先団体がパネル・ポスターの展示やグッズ・チラシの配布などを行い、成田空港の利便性や成田空港へのアクセス、成田空港周辺や国内線就航先の魅力をPRした。協議会事務局ブースでは、各ブースの展示物と連動したクイズラリーを実施することにより、より多くの来場者に会員・就航先のブースに立ち寄ってもらい、PR効果を高めることができた。また、主なターゲットであるファミリー層に訴求するため、子供向けのイベントとして、飛行機アートやさかな芸人ハットリのライブを行った。

7日には、石井会長も来場され、各ブースの激励に回られた。



会員企業が成田空港への交通アクセスをブースで説明



クイズラリーの様子

- イベントの実施に向けて、新聞折込みをつくば市、つくばみらい市、常総市などに約9万部配布するとともに、ベイエフエムでは20秒CMを15回放送し、また、森口博子さんが、自身のベイエフエムの番組内でも本イベントを数回にわたって紹介してくれたこともあり、多くの方に、本イベントに参加していただくことができた。
- 森田知事が、11月7日のイベント当日には、ベイエフエムの生放送に出演し、千葉県や成田空港のPRを行った。
- イベントでは、クイズラリーやステージイベント、特設ブースでのイベントなどの直接参加者だけでも各日1,000人を超え、見学者を加えれば各日5,000人を超える参加者の方々にPRすることができた。

【イベント出展団体等】

協議会会員

(公財)航空科学博物館、ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、全日本空輸(株)、千葉県ゴルフ協会、千葉交通(株)、成田国際空港(株)、日本航空(株)、バニラ・エア(株)、(株)ベイエフエム、県立房総のむら、成田市、旭市

国内線就航先等

北海道、広島県、香川県観光協会・高松空港振興期成会、愛媛県、佐賀県、大分県、熊本県、沖縄観光コンベンションビューロー、奄美市、地域振興連絡協議会、国土交通省千葉国道事務所

[メディア露出] 3件

- 新聞 日経新聞 (11月6日)
- 常陽新聞 (11月12日)
- 日刊工業新聞 (2月29日)

2 成田空港親子見学バスツアー

- つくば市周辺の親子を対象に、圏央道の開通によりつくばから近くなった成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ、「ナリタファン」になっていただくため、通常では立ち入ることができないランプコントロールタワーや周辺の観光施設などを見学するバスツアーを実施した。

【実施日】平成27年11月28日（土）

【参加者数】つくば市周辺の親子19組44名

【募集方法】参加者は平成27年11月8日（日）に実施したつくば市におけるプロモーションの際に募集

【行程】

研究学園駅前（9時）→（圏央道経由）→成田空港（ランプコントロールタワー見学 10時～11時）→航空科学博物館（機内食風昼食、博物館内見学 11時～14時）→成田ゆめ牧場（14時30分～16時）→（圏央道経由）→研究学園駅前（17時） 解散

【協力会員】

（株）秋葉牧場（成田ゆめ牧場）、（公財）航空科学博物館、（公社）千葉県観光物産協会、東京空港交通（株）、成田国際空港（株）

【参加者の声】（参加者アンケート）

つくばから成田がとても近いことに驚いた。成田に来る機会が増えそう。
普段は入れないランプコントロールタワーに入れて良かった。
成田ゆめ牧場の滞在時間がもっと多い方がよかった。

【メディア露出】 2件

□新聞 日経新聞（11月26日）

朝日新聞（12月7日）



ランプコントロールタワー見学の様子



航空科学博物館では機内食風ランチを体験

3 茨城県、群馬県のイオンシネマにおける成田空港CMの放映

北関東の方に対して圏央道延伸により、「より近く！より便利に！」なった成田空港をアピールするため、映画上映直前のCM放送を実施した。

【時期】平成27年9月5日（土）～平成28年3月4日（土）

【場所】茨城県 イオンタウン守谷、イオンモール下妻
群馬県 イオンモール太田、イオンモール高崎

【対象】上記イオンシネマで放映する全作品

※航空機事故をメインテーマにしているものを除く

【視聴者】59万人



CM 放映の様子

4 筑波大学の大学祭パンフレットへの広告掲載

昨年度に引き続き筑波大学の大学祭（雙峰祭）のパンフレットに、若年層の旅行需要喚起を狙った広告を掲載。

【期間】平成27年11月6日（金）～11月8日（日）

【対象】大学祭来場者25,000人、発行部数11,000部



デザイン

5 宇都宮地域における共同PRイベント実施について

高速バスによる成田空港のアクセスが、圏央道開通によるルート変更に伴い大幅に所要時間が短縮された栃木県宇都宮市において、成田国際空港(株)と共同で成田空港のPRや、LCCでの気軽な旅行をアピールした。

※参考 宇都宮ー成田空港間バス 3時間から2時間30分へ(30分短縮)

【時期】平成27年9月21日(火)

【場所】栃木県宇都宮市「ベルモール」

【内容】エアライン等のブース展開、ステージイベント

スタンプラリー(各ブースと連動、プレゼント企画の実施)

【対象】イベント来場者 4,000人



イベントの様子

[メディア露出] □新聞 日経新聞(9月5日)

【総括】

○つくば市におけるプロモーションイベント

- 折込み広告やベイエフエムのCMなど事前のPRの効果もあり、また、内容も盛りだくさんで楽しめるものだったことから、多くの方の参加のもと、幅広く成田空港の利便性などをPRすることができた。
- また、多くの会員や就航先団体と協力してイベントを実施したことにより、会員間・会員と就航先団体との連携が深まった。
- 委託業者決定からイベントまで時間がなかったことから、会員との間で十分な意思の疎通ができず、運営に支障をきたした部分があった。

○成田空港親子見学バスツアー

- アンケートでも、参加したすべての方が満足したとの回答であり、つくばから成田空港へのアクセスの利便性のPRや「ナリタファン」の獲得には大きな効果があった。
- 滞在時間の配分についての意見が数件あったため、今後同様のツアーを実施するにあたっては、参加者を勘案して時間配分を見直す必要がある。
- ナリタファンの獲得に有効であることから、今後は、県民を対象にしたツアーも検討したい。

○その他のPR活動について

- つくばでのイベントに連動し、北関東エリアにおける空港アクセスの向上をPRするための展開を行い、映画上映前のCM放映については、多くの人に確実に見てもらえる媒体であったことから訴求力の高いものであった。また、筑波大学学園祭が、つくば市におけるプロモーションイベントと日程が重なっていたため、イベント告知も併せて実施することができた。
- イベント単発ではなく、様々な媒体と合わせキャンペーンを実施したことで、より多くの人へのアプローチができたと考えられる。

イ 県内・首都圏でのナリタPR

平成27年度成田空港利用促進キャンペーン

第3旅客ターミナルのオープンや圏央道の開通など、成田空港を取り巻く新しい環境変化を絶好のプロモーション機会と捉え、首都圏・千葉県内を対象に、豊富な国際航空ネットワーク、LCCによる国内線やアクセス利便性などの最新トピックを踏まえた空港利用促進キャンペーンを展開した。

県内・首都圏において、成田空港からの豊富な国際線・国内線ネットワーク等成田空港の利便性をPRした。

[展開]

1 県内向け利用促進プロモーション

①成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画

【時期】平成27年8月17日(月)～9月30日(水)

【対象】乗車人数10,860人 応募件数5,998件

- ・無料高速バスに乗り応募した方の中から3組6名に国内往復航空券をプレゼント。また、外れた方から100名にも成田空港活用協議会オリジナルクオカードをプレゼントした。
- ・成田空港の国内線ネットワーク訴求のチラシを1万部作成し車内で配布するとともに、無料高速バスの専用ホームページからのリンクでも成田空港の充実したネットワークをPRした。



チラシデザイン

②県庁舎内パネル展示

【時期】平成27年9月14日(月)～9月30日(水)

【場所】千葉県庁舎内(1階連絡通路)

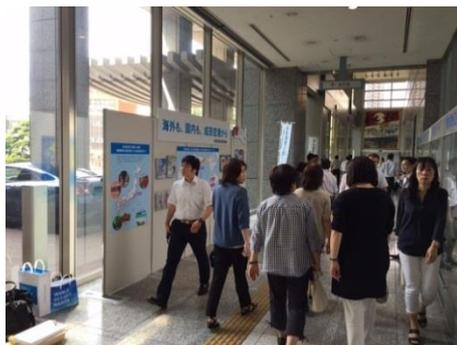
【対象】県庁来庁者及び県庁職員

- ・9月20日の「空の日」にちなみ、成田空港PRパネルやパンフレットなどの展示を実施し成田空港の持つ国際・国内ネットワーク、成田空港でのショッピングや空港での過ごし方などをPRした。



パネルデザイン





展示の様子

③成田空港内パネル展示

【時期】平成27年10月12日（月）

【場所】成田空港第2旅客ターミナルビルB1階

【対象】成田空港来港者及び千葉県プレミアム宿泊券購入者

- ・千葉県の実施する「千葉県秋の観光キャンペーン」に合わせて、空港利用者に対して成田空港のネットワークをPRするパネル展示を実施。
- ・同キャンペーン中に千葉県プレミアム宿泊券を販売があり、空港利用者だけでなく、宿泊券を購入するために空港を訪れる近隣の住民に対してもPRした。

④県民だよりへの広告掲載

【時期】平成27年11月号（11月5日発行）

【発行部数】約210万部

【対象】千葉県全域

- ・広く県民に向け、国内線を中心に成田空港の持つ豊富なネットワークをPRした。



デザイン

⑤千葉県中央旅券事務所におけるプロモーション

【時期】平成27年11月29日（日）、12月6日（日）

【場所】千葉県中央旅券事務所

【対象】パスポート交付者（2日間で314人が登録実施、400名に成田空港PRチラシを配布）

- ・法務省入国管理局の協力を得て、自動化ゲートの出張登録及び成田空港の利用促進に向けたPRを実施した。
- ・平成28年3月30日より旅券事務所入口において成田空港のPRパネルを設置した。



自動化ゲート登録の様子

⑥県内成人式におけるプロモーション

【時期】平成28年1月9日（土）～1月11日（月）

【場所】千葉県内 協力会員45市町村 成人式会場

【対象】新成人 約38,000人

- ・新成人に対するお祝いメッセージとともに、会員航空会社の航空券等が当たるプレゼントキャンペーン紹介のチラシを配布した。



デザイン

⑦千葉都市モノレールへの広告出稿

県民向けに旅行需要の喚起につながるようなデザインで、多くの人の目を引くようにするとともに、成田空港の国内・国際ネットワークをPRする。

【時期】平成28年3月25日（金）～3月31日（木）

※デザイン、ラッピングシートの制作

平成28年4月2日（土）～平成29年3月31日（月）

※出稿期間

【対象】千葉県民（モノレール利用者や沿線を通られる方）

2 首都圏向け利用促進プロモーション

①東京スカイツリーでのプロモーション活動

【日時】平成27年12月4日（金）～12月10日（木）※10時～18時

【場所】東京スカイツリー5F出口フロア

「Beautiful NIPPON」全国観光PR コーナー

【対象】東京スカイツリーを訪れた観光客7日間で3,000名

※うち、2,830名の方がクイズ・アンケートに参加

- ・沖縄県・鹿児島県、奄美市と共同でプロモーションを実施。
- ・成田空港からLCCを含め多くの航空便が就航しており「お得に」「気軽に」出かけられることを知ってもらい、利用してもらうことを目的に、パネルやチラシなどでPRした。
- ・クイズ及びアンケート回答者には国内航空券があたる抽選会に参加いただくことで、確実な訴求を実現した。



プロモーションの様子

②JPタワー「KITTE」でのプロモーション活動

【日時】平成27年11月30日（月）11時30分～13時30分

【場所】JPタワー「KITTE」地下1階 東京シティアイパフォーマンスゾーン
千葉県アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」

【対象】丸の内周辺に勤務するサラリーマンやOL 約200名

- ・出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的にパンフレットの配布や抽選会を行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。



プロモーションの様子

【参画会員】

アイベックスエアラインズ(株)、京成電鉄(株)、京成バス(株)、(公財)航空科学博物館、ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、全日本空輸(株)成田空港支店、成田国際空港(株)、日本航空(株)、日本旅行(株)、バニラ・エア(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本旅客鉄道(株)千葉支社、千葉県、45市町村会員、

[メディア露出] 7件

- 新聞 日本経済新聞（7月23日）
読売新聞（7月28日）
千葉日報（8月2日）
朝日新聞（11月30日）
沖縄タイムス（12月6日）
琉球新報（12月6日）
- テレビ チバテレビ（11月29日）

[総括]

- 県民向けの利用促進キャンペーンでは、旅券事務所や県庁、モノレール利用者など様々な機会において、成田空港の国際・国内線ネットワークを中心としたPRを実施し、利便性が向上している現状を認識してもらい、成田空港が“our airport”であることの意識を強く持っていただくことで、出張、レジャー等に利用されるようPRした。
- 首都圏において実施した、スカイツリー、KITTEでのPRイベントでは、ともに日本全国からの観光客・ビジネス客が集まってくることから、日本全国の方に対して成田空港のPRを行うことができた。
- 東京スカイツリーや成人式で実施したアンケート結果では、成田空港の国内路線に対する認知度が低いという結果や、空港についての情報を得る機会が少ないとの結果が得られた。今後も様々な機会を捉えプロモーションを継続実施していく必要がある。

ウ 会員向け利用促進

会員向け成田空港利用促進キャンペーン

会員に実際に成田空港を利用し、成田空港の利便性や豊富な国内線ネットワークを知ってもらうことで、成田空港が“our airport”であることの認識を持っていただき、今後、積極的に成田空港を利用していただくため、会員エアライン及び旅行会社と連携して、既存の旅行商品に会員向け特別割引を付加した商品を造成した。

Jetstar 15.10/1 ~ 16.3/30 発
成田発 エース/JR 首都圏発
成田発 13,000円~40,700円
北海道・四国・九州・沖縄
往復の航空機 + ホテル・旅館
おひとり様からお申込OK!

日次	出発	到着	行き先	備考
初日	成田空港発	各空港	各地(印)	(1,1)回
中日	(終日フリータイム)		各地(印)	(例)1回
最終日	各地	各空港	成田空港着	(例)1回

お申込のご案内 ※ 諸条件も必ずお読みください
 ① 出発日の5日前17時までに申込ください。ただし、出発日の5日前が土・日・祝日の場合はお申込締切が早まります。販売店までお問合せください。
 ② P.4のごとく温泉・ホテル、宝荘ホテル、ホテル各別館はとも代金の設定があります。その他の宿泊施設はとも代金の設定はございません。6歳以上11歳以下は小と大と両割となります。予約ご了承ください。
 ③ 年齢18歳以上以下は未成年のみの対象となります。
 ④ 年齢を必要としない幼児(0~1歳)はご予約時に生年月日が必要となります。
 ⑤ 年齢指定はできません。 ⑥ 出発時刻の50分前までに集合ください。
 ⑦ 無料での飲料機内サービスはありません。 ⑧ 身分証明書を必ずお持ちください。

成田空港活用協議会会員の皆様へ
2016.11/1~2016.3/25迄有効な申込の場合、おとちよ5,000円(税別)が優待となります
Vanilla Air
札幌
9,800円~49,200円
2015.10/27~2016.3/25 発
下記6社のホテルより好きなホテルが選べます (各社のお申込OK)

ホテル京福札幌	ホテルタインステイ
ホテルグレイスリー札幌	ホテルロイヤルホテル札幌
KITA HOTEL	イビスタイル札幌

成田空港発着のLCCを使った会員向け旅行商品

[展開]

- 個人向けに北海道、四国、九州、奄美大島、沖縄に運航しているLCCを使った既存の旅行商品（航空券+ホテルのWEB専売パッケージ商品）を会員旅行会社及び航空会社の協力を得て、協議会会員向けにアレンジし、協議会会員の利用促進を図った。
- 社員旅行等で利用できる団体向けの割引プランも用意した。
- 対象期間を平成27年11月1日～平成28年3月31日まで5か月間とし、一定の予算枠のもと、協議会会員一人当たり5,000円（10人以上の団体旅行には、50,000円）をキャッシュバックする仕組み。

[参画会員]

近畿日本ツーリスト(株)、京成トラベルサービス(株)、(株)JTB コーポレートセールス、(株)日本旅行千葉支店、ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)

[総括]

- 昨年度に比べ、多数の旅行先（1都市→9都市）を用意したり、利用期間を長くするなど、会員の利用促進を図ったが、利用者数が伸びなかった。今後、会員企業・団体の従業員に広く利用していただけるような方策を検討する必要がある。

(3) ビジネス支援事業

ア 経済活性化セミナー

第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成26年度に実施した外国人旅行者等を対象として嗜好や周遊動向等を調査した「インバウンド調査」の調査結果を報告するとともに、更なる増加が見込まれる訪日外国人旅行者の千葉県への誘客促進に向けた取組について、「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査～調査結果の概要と課題・取組方向～」と題したセミナーを、平成27年度総会に併せて実施した。



セミナーの様子



講演する小松部長

[展開]

日時：平成27年5月12日（火）※総会終了後

場所：三井ガーデンホテル3階「平安」

- 本セミナーでは、「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査～調査結果の概要と課題・取組方向～」と題して、調査を受託した株式会社ちばぎん総合研究所の小松調査部部長が講演を行った。
- セミナーでは、調査結果の概要を説明し、次回の来訪目的を分析したうえで、外国人の来訪目的に応じた取組の方向性を提示するとともに、統一的な情報発信の重要性を訴えた。
- また、他県でのバリアフリー事例を取り上げるなど、外国人に対するおもてなしと併せて、高齢化先進国としての日本についても紹介した。

[メディア露出] 4件

□新聞 読売新聞（5月16日）

千葉日報（5月22日、25日）、日刊工業（5月29日）

[参加者等] 132名

□会員 89団体(社) 128名

□協力施設 4施設4名

[アンケート結果]

○セミナーの内容について

- | | |
|---------------|-------|
| ・大いに参考になった | 28.6% |
| ・ある程度参考になった | 64.3% |
| ・どちらともいえない | 7.1% |
| ・あまり参考にならなかった | 0.0% |
| ・参考にならなかった | 0.0% |

[主な意見]

- ・外国人の特性・ニーズが分かった、外国人の視点による地域の魅力を認識することができた。
- ・調査結果を基にした考察が参考になった、観光資源を持つ自治体には参考になる。
- ・観光資源が少ない地域におけるアピールポイントの設定の考え方を知りたい。
- ・実施時期、標本数についての偏りがあるのではないか、継続して調査を実施する必要があるのではないか。

[総括]

- 本調査の実施については、市町村、観光事業者等に基礎資料を提供することが出来た点、外国人のニーズ・外国人視点における地域の魅力について認識する機会を設けられた点など、一定の意義があった。
- 一方で、サンプル数や回収したサンプルの偏りについて指摘もあり、実施時期・協力施設の選定・ノベルティの提供方法等サンプルの回収方法等に課題が残る。
- セミナーについては、総会後に実施したため、多くの会員に参加をいただくことができた。
- また、協議会ならではのテーマやより多くのセミナーの開催を求める意見があったため、今後の課題としたい。

第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成27年6月7日に圏央道の神崎IC-大栄JCT間が開通し、北関東・東北から成田空港・千葉県へのアクセス、利便性が向上した。これを契機として圏央道の意義・効果や未開通区間（大栄JCT-松尾横芝IC）の早期整備の必要性について考える機会として、『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』と題してセミナーを実施した。

また、時間短縮効果等を体感するためのバスツアーも併せて実施した。



石井会長による冒頭挨拶



茨城県 前田課長による講演



視察の様子：道の駅「発酵の里こうざき」



視察の様子：成田ゆめ牧場

[展開]

日時：平成27年6月30日（火）

場所：つくば国際会議場

- セミナーでは、第1部として国土交通省関東地方整備局道路部道路課企画官の鹿角氏から「圏央道と北千葉道路の整備の展望と活用について」と題した講演が行われ、圏央道の持つ様々な機能や整備状況について語られるとともに、開通直後に現れた効果など最新情報が紹介された。

- 第2部として、茨城県企画部地域計画課長 前田氏、(株)常陽産業研究所地域研究部担当部長 海老原氏から「いばらきから見た圏央道開通のインパクト」と題した講演が行われた。

前田氏からは茨城県が実施する企業誘致の取組や外国人の誘客の取組等について紹介があった。また、海老原氏からは圏央道開通による産業立地、観光振興等への期待の高さが語られた。

- 同時開催したバスツアーでは、平成27年4月に神崎IC付近にオープンした道の駅「発酵の里こうざき」と下総IC付近にある成田ゆめ牧場（会員施設）を視察し、圏央道開通に伴う変化についての実感を伺った。

[メディア露出] 7件

- 新聞 日刊カーゴ（6月16日）、日経新聞（6月18日）
茨城新聞、常陽新聞、千葉日報、日刊工業（7月1日）
- テレビ NHK（6月30日）

[参加者等] 94名

- 会員 42団体（社）90名
- メディア 4名
- 協力施設 2施設

[アンケート結果]

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ○セミナーの内容について | ○圏央道の開通効果について |
| ・大いに参考になった 30.4% | ・大いにわかった 54.3% |
| ・ある程度参考になった 69.6% | ・ある程度わかった 45.7% |

[総括]

- 成田空港と圏央道がつながった時機を捉えてセミナー・バスツアーを実施したため、会員の関心も高く、圏央道開通の意義・効果について、会員に強く印象付けることができた。
- 国、茨城県、民間シンクタンクとそれぞれの立場から圏央道開通について講演をいただくことで、会員に対して多岐にわたる情報を提供することができた。また、バスツアーでは時間短縮効果を実感してもらうとともに、近接する民間施設を視察することで民間における期待の高さも確認することが出来た。
- 千葉県内の未開通区間についても、早期開通が必要であると多くの会員が認識したため、今後、早期開通を求める機運が醸成されていくのではないかと見られる。
- 圏央道延伸を契機としてより近くなった茨城県と、今後、協力・連携していくことで、地域の活性化を図っていく必要がある。

イ マーケットリサーチ

成田空港圏における物流動向調査

協議会設立以降、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、TPPの大筋合意及びアベノミクスの進展などの大きな環境変化があり、これらの変化が成田空港を取り巻く物流や人流に与える影響は大きいものと考えられる。

そこで、成田空港圏における物流業界の現状について、統計分析やアンケート等を実施することで圏内の経営者のビジネスマインドの変化や今後の物流マーケットの方向性などを明らかにし、将来の物流業界のビジネスチャンスを考える基礎データとするために実施した。

※成田空港圏…成田空港を有する千葉県及び千葉県に隣接する東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県をいう。

[展開]

- 本調査では、物流業界における近年の状況の変化を客観的に分析する統計分析調査と、近年の状況における企業の意思を確認することでビジネスマインドの変化を捉えようとする企業アンケート調査を行うことで、将来の物流業界のビジネスチャンスを考える基礎データとすることを目的としている。
- また、会員自治体に対して、企業誘致の取組等を調査することで、企業側の事業所の移転・拡大等のニーズに対する自治体の意識・制度を確認した。

➤ 統計分析調査

目的： 県内の物流業界の事業所数・従業者数の経年変化やマーケット規模、最近の物流施設の立地の特徴などを統計データの分析により、明らかにする。

対象： 経済センサス（一部事業所・企業統計調査も含む）、県民経済計算、千葉県統計年鑑など

項目： 事業所数、従業者数、貨物輸送実績、市場規模、雇用環境など

➤ 企業アンケート調査

目的： 成田空港圏の企業の業況や立地環境の満足度、物流戦略の方向性を把握・対比することで、県内の物流環境のポテンシャルを明らかにする。あわせて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催やTPP発効、アベノミクスの進展が成田空港圏の企業の業績及び成田空港の物流・人流に与える影響をとらえ、今後の企業のビジネスチャンスを検討する基礎データとする。

対象： 10,000社（業種：運輸業、製造業、卸・小売業等）

所在地の内訳：千葉県6,000社

東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県各1,000社

※有効回答数1,054件（有効回答率10.5%）

項目： 属性、経営状況、物流体制、環境変化とその業績への影響等

➤ 企業誘致アンケート調査（自治体向け）

目的：企業アンケート調査における企業側の事業所の移転や拡大に対して、自治体側の意識や取組の確認。

対象：成田空港活用協議会会員市町村（47市町村）

※回答数36市町村

項目：企業誘致の取組状況、優遇制度など

[参画会員]

㈱ちばぎん総合研究所、成田国際空港㈱、千葉県

[総括]

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催をはじめとする大きな環境変化は物流、人流に大きく影響を与えることになると予想され、成田空港を有する本県や本県に隣接する他都県への影響を調査することは、今後のビジネスチャンスにつながるものである。
- 統計分析調査から、「成田空港周辺地域」「圏央道と外環道に囲まれた地域」「アクアライン接岸地域」と県内各地域に運輸業の事業所が増加しており、圏央道の整備・進展が進むことで、各地域が結ばれ、発展する可能性が期待できるため、圏央道等の整備・進展についての要望を継続する必要がある。
- 企業アンケート調査については、有効回答率が10%を超えるなど、対象企業の関心も高く、時機を捉えたものであった。また、回答内容においては、物流施設の新設・拡大を検討する企業も存在しており、本県への誘致なども期待できる。
- 大きなトピックスである東京オリンピック・パラリンピックの開催については、地域経済にとってプラス要因と捉えられていることが分かるなど、大きな環境変化がビジネスチャンスにつながる事が分かる。そのため、本調査結果をセミナーなどで会員間に周知することで、県経済の活性化につなげていく必要がある。

(4) 要望活動

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

第3旅客ターミナルビルの供用開始や圏央道神崎～大栄間の開通等により、ますます高まっている成田空港のポテンシャルを最大限に活かし、県内はもとより首都圏に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と北千葉道路の一日も早い開通が不可欠であることから、整備推進等について千葉県及び県内関係2団体とともに平成27年11月20日（金）に国に対して要望活動を実施した。



林経済産業大臣への要望



国交省道路局長への要望

要望活動の様子

[展開]

- 本協議会会長を要望者として、千葉県及び県内関係2団体（千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟、首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議）とともに、国等に対して要望活動を実施。

〈要望先〉

- ・ 財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官 ほか8名
- ・ 経済産業大臣
- ・ 国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長 ほか21名
- ・ 県選出国會議員

《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・大栄から横芝間については、用地取得を確実に進め、事業を推進し、一日も早い全線開通を図ること。
 - ・暫定2車線区間については、早期に4車線化に着手し、一日も早く完成させること。
 - ・圏央道のストック効果をより高めるインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう予算の重点配分を行うこと。

- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・印西市～成田市間の13.5kmについて、一日も早い完成に向け、より一層の事業推進を図ること。
 - ・国道464号の全線を直轄管理区間とすること。特に、西側区間（小室IC以西）を速やかに直轄管理区間とすること。
 - ・西側区間（小室IC以西）について、早期に直轄事業として整備すること。特に、市川市～鎌ヶ谷市間はすみやかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化すること。

- 1 国土強靱化、地方創生を実現し、地域経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるよう、圏央道及び北千葉道路といった民間投資を誘発するストック効果の高い道路事業をより推進するため、積極的に平成27年度の補正予算を確保すること。

また、平成28年度は道路予算全体を増額し、計画的かつ着実な進捗を図るため、必要な予算を確保すること。

[メディア露出] 2件

- 新聞 日本経済新聞（11月21日）
- 千葉日報（11月21日）

[総括]

- この2つの道路は、成田空港の利便性向上や成田空港の経済効果を千葉県全体、首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動を続けていく。

(5) 会員提案の募集・具体化

○ 会員提案の募集

圏央道等の交通インフラの整備進展と併せて、利便性がますます向上する成田空港を活用して、本県の経済活性化につながる取組として、平成27年度事業展開方針(案)の中で、協議会と連携・協働したい事項に係る提案及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

《主な提案》(提案件数15件)

- ・成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業が本格運行につながるようなPR・情報発信
- ・圏央道沿線における千葉県の特産品のPR
- ・企業立地における会員企業と自治体の交流・意見交換の場の提供
- ・会員同士の交流・協働に向けた場づくり
- ・就航先との地域間交流
- ・圏央道沿線におけるイベントのPR
- ・成田空港親子見学バスツアー(つくば)の実施
- ・インフルエンサーとメディアを利用した情報発信の実施

○ 会員提案の検討・具体化(平成27年度事業への取り入れ)

平成27年度事業計画に位置付けられている以下の事業に、会員提案を取り入れ実施した。

- ・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施(H26提案)
- ・沖縄・奄美と地域間連携して実施したスカイツリーにおけるPRイベント
(H27提案)
- ・千葉県高速バス実証運行事業と連携した空港利用促進事業の実施(H27提案)
- ・成田空港親子見学バスツアー(つくば)の実施(H27提案)
- ・ランドオペレーターとの商談会の実施(H26提案)
- ・インフルエンサーとメディアを利用した情報発信の実施(H27提案)
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおける千葉県の特産物のPRの実施
(H27提案)
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおけるラジオを使った告知等の実施
(H27提案)

(6) その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

《プレスリリース実績》 16件

(平成27年)

- 5月 8日 「平成27年度成田空港活用協議会総会及び第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」
- 6月15日 「第2回県内経済活性化ビジネスセミナー『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』の開催について」
- 7月22日 「千葉県高速バス実証運行事業連動企画『成田空港を使って旅に出よう！～国内線往復航空券をプレゼント～』」
- 8月31日 「学生連携企画「女子旅で！成田ブームを巻き起こせ！！」『全体ミーティング及びLCCとの意見交換会』取材のご案内」
- 9月 2日 「「より近く！より便利に！成田空港」～茨城県、群馬県のイオンシネマで成田空港のCMを放映します～」
- 9月11日 「「海外も、国内も、成田空港から」～「空の日」に合わせて成田空港PRを実施します。～」
- 10月30日 「『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』北関東における成田空港利用促進プロモーションの実施について」
- 11月25日 「圏央道開通特別企画『成田空港親子見学バスツアー』の実施について～北関東における成田空港利用促進プロモーション～」
(2件) 「☆千葉県民向け成田空港利用促進キャンペーン☆～千葉県中央旅券事務所にて自動化ゲート出張登録&成田空港利用促進プロモーションを実施します！！～」
- 12月 2日 「ランドオペレーターとの「商談会・交流会」の実施について～アジアからの観光客の更なる増加を目指します～」
(2件) 「「成田空港から沖縄・奄美へ行こう！！」～知って驚き！見て感動！キャンペーンを東京スカイツリーにて実施します！」

(平成28年)

- 1月 7日 「成田空港から今しかできない旅をしよう～千葉県内成人式連動キャンペーンについて～」
- 1月 8日 「学生連携事業【女子旅×成田LCC】『つぼみ女子』のための完全サポートブックの完成及び学生による広島・札幌プロモーションに向けた森田知事への表敬訪問について」
- 1月19日 「成田空港活用協議会学生連携事業【女子旅×成田LCC】関東の学生による広島でのプロモーション活動について～広島学生との意見交換会も実施します～」
- 2月12日 「成田空港活用協議会学生連携事業【女子旅×成田LCC】 関東の学生による札幌でのプロモーション活動について～関東の学生とLCC2社が札幌の学生との意見交換会を行います～」
- 3月 4日 「～成田空港を活用した北海道との相互交流事業第1弾～『北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 千葉2016』の開催について」

《広告等掲載実績》6件

(平成27年)

- 4月27日 日刊工業新聞（空港利用促進）
- 6月 7日 千葉日報新聞（空港利用促進）
- 10月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進、ツアー予告）
- 11月 5日 県民だより（空港利用促進）
- 11月 7日 筑波大学祭パンフレット（空港利用促進）
- 12月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進、ツアー募集）

(平成28年)

- 2月29日 日刊工業新聞（協議会の紹介）

《PR媒体等の制作》

- | | |
|----------------------|---------|
| ・協議会パンフレット | 500部 |
| ・協議会クリアファイル | 2,000部 |
| ・イベント景品用Q u oカード | 800枚 |
| ・イベント配布用協議会ウェットティッシュ | 5,000個 |
| ・女子旅×成田LCCサポートブック | 30,000部 |
| ・女子旅×成田LCCクリアファイル | 500部 |
| ・つくば市でのイベント折り込みチラシ | 90,000部 |
| ・成人式キャンペーン用配布チラシ | 30,000部 |
| ・無料高速バス実証実験国内線PRチラシ | 10,000部 |
| ・スカイツリーイベント配布チラシ | 3,000部 |

- 協議会の会員向けにメール等での情報発信をさらに強化し、会員間における活動状況や成果の共有を図った。(平成27年度メール発信数35件)
- 会員が主催するイベントに対する後援や、会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。
 - ・成田国際空港(株)主催 宇都宮における国内旅行PRイベントへの参加(再掲)
 - 実施日：平成27年9月21日(月・祝)
 - 会 場：栃木県宇都宮市 ベルモール1Fカリヨンプラザ
 - ・成田国際空港(株)と春秋航空日本(株)が参加したプロモーションとの連携「広島空旅!2016」への参加(再掲)
 - 実施日：平成28年1月23日(土)、24日(日)
 - 会 場：紙屋町シャレオ中央広場
 - ・(株)幕張メッセの主催するJAPAN HALAL EXPO 2015の後援
 - 実施日：平成27年11月25日(水)、26日(木)
 - 会 場：幕張メッセ 国際会議場
- 会員による積極的な成田空港利用を促す取組として、既存の旅行商品に特別割引を付加した会員向け旅行商品を作った。(再掲)

成田空港活用協議会役員及び幹事一覧

役員

会 長	石井 俊昭 ((一社) 千葉県商工会議所連合会会長)
特別顧問	森田 健作 (千葉県知事)
副 会 長	佐久間英利 (千葉県経済同友会代表幹事)
〃	花田 力 ((一社) 千葉県経営者協会会長)
〃	小泉 一成 (成田市長)
〃	夏目 誠 (成田国際空港株代表取締役社長)
監 事	花島敬一郎 (千葉県商工会連合会会長)
〃	平 栄三 (千葉県中小企業団体中央会会長)
参 与	水野 創 (株ちばぎん総合研究所取締役社長)
〃	飯沼喜市郎 ((公社) 千葉県観光物産協会会長)
〃	高柳 哲男 ((公財) ちば国際コンベンションビュロー代表理事)

幹 事

(一社) 千葉県商工会議所連合会専務理事

千葉県経済同友会事務局長

(一社) 千葉県経済協議会専務理事

(一社) 千葉県経営者協会専務理事

千葉県商工会連合会専務理事

千葉県中小企業団体中央会専務理事

成田国際空港(株)経営計画部長

千葉県空港地域振興課長

成田市観光プロモーション課長

(株)ちばぎん総合研究所調査部部長[経済活性化部会長]

(公社) 千葉県観光物産協会専務理事[プロモーション部会長]

(公財) ちば国際コンベンションビューロー事務局長

[プロモーション部会副部会長]

成田空港活用協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、成田空港活用協議会（以下「協議会」という。）という。

(目 的)

第2条 協議会は、30万回化を受けた成田空港の新しい動きを本県経済の活性化につなげることを目指した「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」の提言を実現するため、成田空港からの人・物・財の流れを県内に取り込み、また、成田空港を成長させるための諸事業を実施することにより、本県経済の活性化に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国内線利用者の県内観光の推進に資する事業
- (2) インバウンド県内観光の推進に資する事業
- (3) 成田空港発の県内企業ビジネスの創出に資する事業
- (4) ナリタファンの拡大に資する事業
- (5) OUR AIRPORT としての利用促進に資する事業
- (6) 成田空港の利便性向上に資する事業
- (7) 会員相互の情報共有に関する事業
- (8) その他目的達成に必要な事業

(構 成)

第4条 協議会は、経済団体、事業者団体（観光、産業、交通その他の団体）、企業、地方自治体など、第2条の目的に賛同する団体、企業等（以下「会員」という。）をもって構成する。

(会 員)

第5条 協議会の会員になろうとする者は、会長の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

2 協議会から退会しようとする者は、会長の定めるところにより退会を申し出なければならない。

3 会長は、会員のほかに、協議会の事業実施にあたり協力を得るための団体（「協力団体」という。）を指名することができる。

(会費等)

第6条 会員は、負担金又は会費を支払うものとし、その金額は、各年度の総会において定める。

2 前条第2項の規定により退会した会員が既に納入した会費は、これを返還しない。

(役員)

第7条 協議会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 特別顧問 1名
- (3) 副会長 5名以内
- (4) 監事 2名
- (5) 参与 若干名

(役員の仕事)

第8条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 特別顧問は、協議会の事業に資する助言等を行う。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する副会長がその職務を代行する。
- 4 監事は、協議会の会計及び業務執行状況を監査する。
- 5 参与は、協議会の事業に関し専門的見地から助言等を行う。

(役員を選任)

第9条 会長、副会長及び監事は総会において選任する。

- 2 特別顧問は千葉県知事の職にある者をもって充てる。
- 3 参与は会長が指名する。

(任期)

第10条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは、その後任の職にある者をもって充て、その任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第11条 協議会の会議は、総会及び幹事会とする。

(定足数)

第12条 会議は、総会においては会員、幹事会においては幹事の過半数の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第13条 会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

(表決委任)

第14条 やむを得ない理由のため会議に出席することのできない会員又は幹事は、表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

(総会)

第15条 総会は会長が招集し、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算
- (2) 事業報告及び収支決算
- (3) 規約の制定及び変更
- (4) その他重要事項

2 総会の議長は、会長がこれにあたる。ただし、会長が欠席の場合は、副会長のうちあらかじめ会長が指名する者が議長となる。

(幹事会)

第16条 総会の決定した方針、事業計画等に基づき協議会の運営を行うため、幹事会をおく。

2 幹事会は、幹事をもって構成し、幹事は会長が指名する。

3 幹事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 幹事長は、幹事の互選により選任する。

5 幹事会は、必要に応じ幹事長が招集する。

6 幹事会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会に提出する議案
- (2) 総会によって議決された事項の実施に関する事項
- (3) その他会長が必要と認めた事項

7 幹事長が必要と認めた場合は、関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(部会)

第17条 協議会に、第3条に掲げる事業の円滑な実施に資するため、部会を設ける。

2 部会の組織及び運営は、幹事会の意見を聞いて会長が定める。

(庶務)

第18条 協議会の事務を処理するため、千葉市内に事務局をおく。

2 事務局に、事務局長その他の職員をおき、事務局長は、会長が指名する者をもって充てる。

(専決規定)

第19条 事業遂行上急を要する事項については、事務局長の報告を受け会長が専決できる。

2 前項の規定による専決事項については、速やかに幹事会で報告しなければならない。

(資 金)

第20条 協議会の経費は、負担金、会費及びその他の収入をもって充てる。

(会 計)

第21条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(事業期間)

第22条 協議会の活動期間は、平成25年度から平成29年度までの5か年とする。

(補 則)

第23条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、設立の日（平成25年7月31日）から施行する。
- 2 協議会設立前において、協議会設立のために、（仮称）成田空港活用協議会設立準備事務局（以下「準備事務局」という）が支出した経費については、協議会の支出とみなし、その会計は協議会が引き継ぐものとする。
- 3 協議会の設立発起人となった者、準備事務局に会員申込書を提出した者は、第5条の規定にかかわらず会員となる。
- 4 設立時の会計年度は第21条の規定にかかわらず、設立の日から翌年の3月31日までとする。
- 5 この規約は、平成27年5月12日から施行する。